

セルフサービス用小型課金装置

CB-BOX-Premium 取扱い説明書

2019/2/19 版



この度は、本製品をお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。
本製品を安全にご使用いただくために、この取扱い説明書をよくお読みください。
お読みになった取扱い説明書はなくさないよう、大切に保管してください。



Index

1 安全上の注意	
1-1 警告図記号の意味	5
1-2 免責事項について	6
1-3 よい状態でご使用いただける環境の範囲	6
1-4 設置および移動時の取扱い	7
1-5 電源およびアース接続時の取扱い	7
1-6 機械使用上の取扱い	8
2 概要	
2-1 概要	10
2-2 CB-BOX-Premium の特徴	10
3 仕様	
3-1 CB-BOX-Premium 全体仕様	12
3-2 課金制御基板	13
3-3 コインメカニズム	14
3-4 ビルバリデータ	15
3-5 レシートプリンタ	15
4 電源を入れる前に	
4-1 各部の名称 (装置外観)	16
4-2 各部の名称 (内部装置)	17
4-3 表示ランプについて	18
4-4 設定ボタンについて	19
5 電源を入れる、切る	
5-1 電源を入れる (初期点検)	20
5-2 電源を切る	20
6 紙幣の回収	
紙幣の回収	21
7 つり銭の回収・補充	
7-1 つり銭の補充	23
7-2 つり銭の回収	24
8 金庫の硬貨の回収	
金庫の硬貨の回収	25

9 レシート用紙の交換・紙詰まり	
9-1 レシート用紙切れについて	26
9-2 内部構造	26
9-3 用紙のセット	27
9-3.1 ヘッドオープンボタンによりセットする場合	
9-3.2 オートローディングを使用する場合	
9-4 レシート用紙の仕様	28
9-5 カッター切断途中の紙詰まり処置	28
10 硬貨の切り替え	
硬貨 (金種) の切り替え	29
11 制御仕様	
11-1 動作状態	30
11-1.1 初期化	
11-1.2 待機中	
11-1.3 販売中 (減算状態)	
11-1.4 清算処理 (つり銭返却)	
11-1.5 オプション設定	
11-1.6 領収書印刷	
11-2 オプション設定 (設定モード)	34
11-2.1 オプション設定の操作方法	
11-2.2 各設定内容	
11-3 バックアップ機能	42
11-3.1 バックアップ機能利用に関する注意 1 (過渡的状态時の対応)	
11-3.2 バックアップ機能利用に関する注意 2 (復帰後の返金対応)	
11-3.3 エラー発生時の投入金バックアップ	
12 エラー表示について	
12-1 エラー表示	44
12-2 エラーコード一覧	45

13 USBコントロール

13-1	USB ケーブルの差し込み	48
13-2	CBEZ との論理的接続	48
13-3	ユーティリティソフトの起動	49
13-4	ユーティリティソフトからの設定	49
13-4.1	コラム価格の変更	
13-4.2	オプション設定	
13-4.3	領収書印刷文字の設定	
13-4.4	確定送信ボタン	
13-4.5	カウンタークリアボタン	

14 1000 円紙幣の複数受け入れ対応

14-1	千円紙幣の複数枚受け入れ対応	52
14-1.1	受け入れ条件	
14-1.2	500 円硬貨の用意	
14-2	運用上の注意	52

15 機器の据え付け

15-1	配置	53
15-2	電気工事	54
15-2.1	電源	
15-2.2	アース	

16 日常のメンテナンス

16-1	C/M の日常メンテナンス	55
16-1.1	掃除について	
16-1.1	掃除方法	
16-1.1	掃除の仕方	
16-2	B/V の日常メンテナンス	59
16-2.1	掃除について	
16-2.1	掃除方法について	
16-3	レシートプリンタの日常メンテナンス	61
16-3.1	掃除方法	

17 外形寸法図

17-1	外形寸法図	63
17-2	同梱物	64

1

安全上の注意

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
本書をお読みになった後は、いつも手もとに置いてご使用ください。本書にはあなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
取扱説明書内の表示と図記号の意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

1-1 警告図記号の意味

	危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。
	警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的障害の発生が想定される事項があることを示しています。

						
注 意	指挟み注意	回転物注意	高温注意	破裂注意	発火注意	感電注意
						
禁 止	火気禁止	接触禁止	風呂場禁止	水濡れ禁止	分解禁止	濡れ手禁止
						
指 示	アース線を接続せよ		電源プラグを抜け			

1-2 免責事項について

- ・災害、地震、第三者による行為、その他事故、お客様の故意または過失、誤用、その他 異常な条件下での使用により生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- ・本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- ・取扱い説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。

1-3 よい状態でご使用いただける環境の範囲

屋内 ただし、風雨、直射日光にさらされないこと。
周囲温度 0 ～ 40℃
周囲湿度 20 ～ 85% RH（ただし結露なきこと）

＜注意＞ 冷え切った部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し、このことを繰り返すと機械に悪い影響を与えます。

また、湿度が低い環境では物体に静電気が滞留しやすくなります。周囲湿度が、40%以下になると、静電気によるトラブルが発生しやすくなります。

1-4 設置および移動時の取扱い

	 注 意	
	屋外では使用しないでください。 雨水などにさわされ、火災や関電の原因となります。	
	ストーブやヒーターなど発熱器具に近い場所、揮発性可燃物などの燃えやすいものに近い場所には機械を設置しないでください。 火災の原因となるおそれがあります。	
	高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場には機械を設置しないでください。 発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。	
	機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 電源コードが傷つき、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。	
	転倒の防止対策を行ってください。 本機は重さ 30kg に耐えられる水平で振動のない安定した場所に設置してください。	

1-5 電源およびアース接続時の取扱い

	 警 告	
	電源プラグは定格電圧 100V で、定格電流 7A 以上のコンセントに差し込んでください。またタコ足配線をしないでください。 発熱による火災や感電のおそれがあります。	
	電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。 そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災におそれがあります。	
	電源コードが痛んだら（芯線の露出、断線）弊社または販売代理店にご連絡ください。 そのまま使用を続けると火災のおそれがあります。	

	電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。 また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。 電源コードを傷め、発熱による火災のおそれがあります。
	延長コードは定格（125V,15A）未満のものは使用しないでください。 発熱による火災のおそれがあります。
	電源プラグは絶対に濡れた手で触れないでください。 感電のおそれがあります。
	次のような時は直ちに使用を中止し、電源のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 ・機械からの発煙、機械の外側が熱くなった時 ・異常な音やにおいがするとき ・機械の内部に水が入ったとき そのまま使うと、火災・故障のおそれがあります。弊社または販売代理店にご連絡ください。
	万一漏電した場合は、感電や火災を防ぐ為に機械裏側から出ているアース線を必ずいずれかに取付けてください ・電源コードのアース端子 ・銅片など 650 mm以上地中に埋めたもの ・接地工事（D 種）を行なっている接地端子
	次のようなところには絶対にアース線を接続しないでください。 ・ガス管（引火や爆発の危険があります） ・電話線用アース線及び避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があります危険） ・水道管や蛇口（配管の途中が塩ビ管になっている場合はアースの役目を果たしません）
	電源プラグを抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。 電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となる恐れがあります。
	半年に一度は機械にある電源のスイッチを切り、次のような点検をしてください。 ・電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているか。 ・電源プラグに異常な発熱はないか。 ・電源プラグや電源コンセントに細かいホコリがついていませんか。

	機械の電源のスイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。 アースによりプラグが変形し発熱による火災の原因となるおそれがあります。
	機械の清掃および保守、故障の処置を行なう場合は、電源のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 電源のスイッチを切らずに機械の清掃や保守を行なうと感電の原因となるおそれがあります。
	長時間、機械をご使用にならないときは、安全の為に電源のスイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になるおそれがあります。

1-6 機械使用上の取扱い

警告

	機械の上にコップやジュースなどの水の入った容器を置かないでください。 水がこぼれた場合、火災や感電のおそれがあります。
	機械の内部に異物（水や金属片など）が入ったときは、ただちに電源のスイッチを切り、電源コンセントから電源プラグを抜いてください。 そのまま使うと、火災、故障のおそれがあります。お買い求めの販売店または保守サービスに点検の依頼をしてください。
	ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示している箇所以外は絶対にあけないでください。 内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
	自分で修理や改造、又は分解、部品の変更をしないでください。 感電や火災、やけどのおそれがあります。不良・故障時はお買い求めの販売店または保守サービス依頼してください。
	機械の扉の開閉の際は指などを挟まないようにご注意ください。 ケガの原因となるおそれがあります。

2

概要

2-1 概要

CB-BOX-Premium は、理想科学工業株式会社製印刷機「リソグラフ」と接続することにより、セルフコピーサービスやプリント課金サービスを実現した課金ユニットです。

課金制御基板 CBEZ-Premium（以下、CBEZ）を内蔵し、コインメカニズム（以下、C/M）及び、ビルバリデータ（以下、B/V）を各 1 台ずつ接続することができ、「リソグラフ」と接続することで課金処理・つり銭返却・売上管理等を行うことができます。また、プリンタによるレシートの発行も可能です。

USB インターフェイスを介して Windows PC から金額設定等の管理機能も提供されます。
※リソグラフは、理想科学工業株式会社の商標登録または商標です。CB-BOX-Premium 単体での動作はしません。必ず上位側からの制御を行ってください。

2-2 CB-BOX-Premium の特徴

さまざまな金種を使い勝手よく配置できます

SUB チューブが無駄なく使えます

これまで 5 円を利用しない場合は SUB チューブが空きスペースとなっていました。しかし CB-BOX-Premium では C/M を入れ替えることなく、5 円を利用しない場合は、10 円、100 円 SUB チューブとして使うことができます。利用状況に応じて臨機応変に対応できます。

扉を開けたままイベントリースイッチが操作できます

GOOD DESIGN 賞受賞の設計と操作性の高さ

シンプルかつコンパクトな本体内に、C/M、B/V、レシートプリンタが効率よく配置されています。本体扉は独立しているので、イベントリースイッチ操作をしても、硬貨が散らばることはありません。

- ① B/V は指でスライドして引き出して、紙幣を取り出すことができます。

B/V は飛び出す
スライドタイプ



- ② C/M は排出口と一体化した設計でイベントリースイッチ操作をしても硬貨がこぼれることがなく、扉を開けたまま設定や操作ができます。

- ③レシートプリンタの排出は、静電気での貼り付きや散乱などがトラブルとなるオートカッターによる排出ではなく、用紙の中央部分を残して出力するパーシャルカットです。トラブルを防ぎ、取り忘れも防いでレシートを確実にお客様に届けます。



ベゼル（つば）付きで、風にも強く取りやすい

C/M は扉を開けても
硬貨返却口と一体化



カスタマイズできる仕様とデザイン

仕様に合わせて張り替えられる筐体デザインシール

取引内容に合わせた金種の設定をはじめ、B/V、レシートプリンタの有無などニーズに合わせたカスタマイズができます。また仕様に合わせて筐体のデザインシールを貼り替えるだけで、ボディもカスタマイズに対応します。

仕様に合わせて
デザインシールも
カスタマイズ



3

仕様

3-1 CB-BOX-Premium 全体仕様

形 式	CB-BOX-Premium
外 形 寸 法	高さ 930mm ×幅 350mm ×奥行 250mm
質 量	19kg (コインメックキット) ※コインメカニズム、ビルバリ、レシートプリンタ取り付け時重量：20.8kg
使用可能硬貨	5 円、10 円、50 円、100 円、500 円
使用可能紙幣	1,000 円
金庫収納枚数	300 枚 (すべて 100 円貨の場合)
最大投入可能金額	6,000 円
機 能	売上カウンタ積算・表示、 時計機能、USB による各種設定機能、 領収書発行機能、バックアップ機能
電 源	DC24V 単一
電 圧	AC100V (50-60Hz)
消 費 電 力	定格消費電力：20W (※1) - 45W (※2) 最大消費電流：58W (※2) ※1 コインメカニズム動作時 ※2 コインメカニズム、ビルバリ、レシートプリンタ動作時
動 作 環 境	温度 0 ～ 40℃、湿度 20 ～ 85% (結露しないこと)
保 存 環 境	温度 -10 ～ 60℃、湿度 20 ～ 85% (結露しないこと)

3-2 課金制御基板

制 御 基 板	オクト CBEZ-Premium (課金制御基板)
バックアップ機能	8K バイト 不揮発メモリに以下を記録しています ・投入金額 (電源断時に投入金額を記憶する) ・単価設定 ・コラム (価格設定単位) 別販売カウンタ ・領収書用データ (最後の取引分) ・時計 ・各種設定時 (領収書印刷データ等)
価 格 設 定 種 類	最大 16 コラム ただし、現状は 10 種類 1 色印刷 S サイズ、1 色印刷 L サイズ、2 色印刷 S サイズ、2 色印刷 L サイズ、 両面印刷 S サイズ、両面印刷 L サイズ、 製版 S サイズ、製版 L サイズ、 RLP S サイズ RLP L サイズ
価 格 設 定 範 囲	0.0 ～ 99.9 円 1 色印刷 S サイズ、1 色印刷 L サイズ、2 色印刷 S サイズ、 2 色印刷 L サイズ、両面印刷 S サイズ、両面印刷 L サイズ 0 ～ 990 円 製版 S サイズ、製版 L サイズ 1 ～ 999 円 RLP S サイズ RLP L サイズ
売 上 カ ウ ン タ 積 算 ・ 表 示	販売コラム毎に販売実績を積算し、枚数の表示が可能 (専用ユーティリティソ フトでも可能)
時 計 機 能	2 0 1 5 年 1 月 1 日 0 時 0 分から 2 0 9 9 年 1 2 月 3 1 日 2 3 時 5 9 分の範囲 で時計機能を内蔵し領収書に発行日時を付加する
U S B インターフェイス	USB ケーブルで接続した外部 PC と通信を行い設定内容の変更とカウンタの表 示が可能
表 示 機 能	4 桁 7 セグメント LED にて金額、エラー情報、設定値等の表示
状態表示 LED	【販売中】ランプ 【1 0 0 円硬貨切れ】ランプ 【領収書印刷】ランプ 【1 0 円硬貨切れ】ランプ 【用紙切れ】ランプ (※) 【5 円硬貨切れ】ランプ ※用紙切れランプ点灯はロール紙残量が一定量以下になった時点灯する
返 却 ボ タ ン	投入金額または、残金の返却を行う
領 収 書 ボ タ ン	1 つの取引 (精算) が完了した時点で領収書の発行が可能
振 動	20m/s2 10 ～ 50Hz 周期 3 分 X,Y,Z 3 方向各 1 時間 非動作時
衝 撃	200m/s2 11ms X,Y,Z 3 方向各 1 回 非動作時

3-3 コインメカニズム

型番	富士電機株式会社製 FEVT561
対応金種	10 円、50 円、100 円、500 円、5 円（※） ※設定により 5 円の入出金の可否、SUB チューブを 5 円、10 円または 100 円用に切り替える事が可能
釣銭保留枚数	[自動補給・手動補給併用チューブ] ・10 円貨チューブ：約 90 枚 ・50 円貨チューブ：約 78 枚 ・100 円貨チューブ：約 77 枚 ・500 円貨チューブ：約 68 枚 ・SUB チューブ（5 円貨）：約 90 枚（5 円使用設定時） 上記以上は本体の金庫部に収納 [手動補給チューブ] ・SUB チューブ（10 円貨）：約 100 枚 ・SUB チューブ（100 円貨）：約 88 枚
最大受入枚数	1 回の取引での最大受入れ枚数は以下の通りである。（5 円使用、エスクロ機能無しに設定） ・10 円貨：40 枚 ・50 円貨：30 枚 ・100 円貨：30 枚 ・500 円貨：8 枚 ・5 円貨：10 枚（5 円使用設定時）
最大硬貨投入金額	5,500 円（最終投入金種により 5,005 円～5,500 円変動）
つり銭切れ検知枚数	コイル方式の近接スイッチ（エンブティセンサ）によりチューブごとのつり銭切れを検知する。 ・10 円貨チューブ：13 ± 3 枚 ・50 円貨チューブ：13 ± 3 枚 ・100 円貨チューブ：13 ± 3 枚 ・500 円貨チューブ：8 ± 2 枚 ・SUB チューブ：（10 円貨）15 ± 3 枚、（100 円貨）13 ± 3 枚、（5 円貨）15 ± 3 枚（電源投入時、またはカセットチューブ着脱時） 0 ～ 3 枚（連続動作時）

注意：自動つり銭合わせ機能が無いので、自動つり銭合わせ不使用設定にする必要があります。
また、メダル（トークン）機能も非対応になります。

3-4 ビルバリデータ

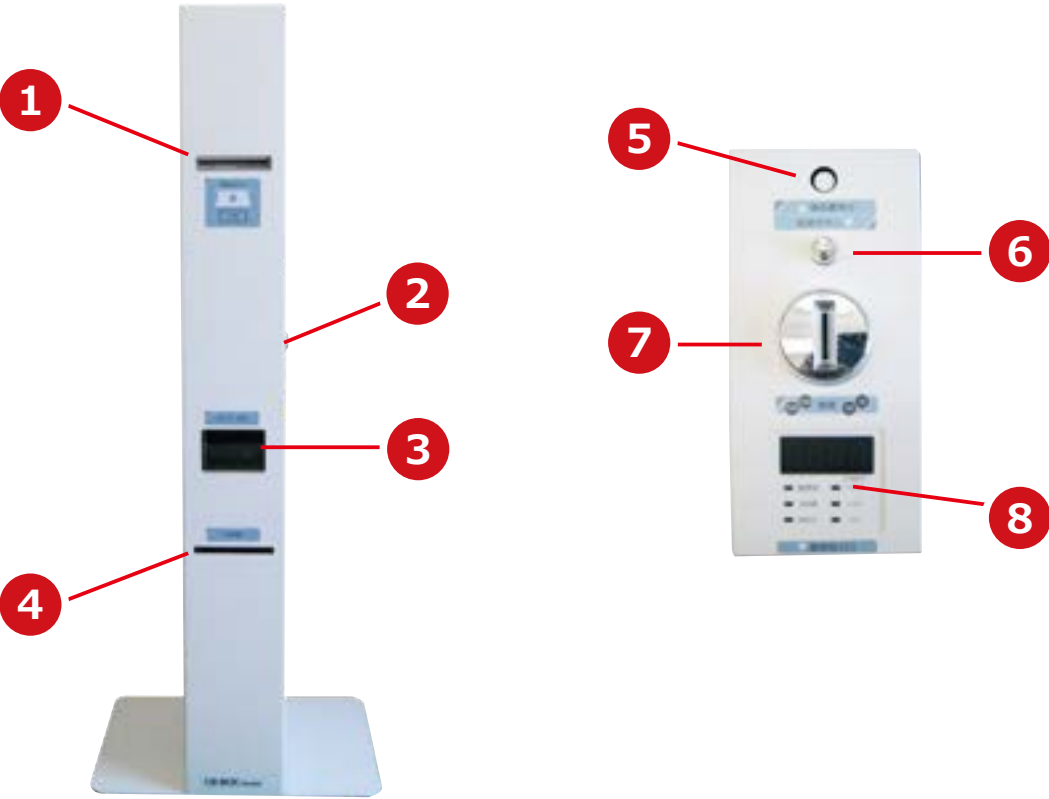
型番	富士電機株式会社製 BVE21S
対応金種	1000 円紙幣（二千円紙幣には非対応。受入不可とする）
最大投入枚数	1000 円× 4 枚（※） ※ 1000 円の投入枚数は、500 円硬貨のつり銭払出し可能枚数により変化する。 500 円のつり銭が無しの時は、投入可能枚数は 1 枚。 ※ 1000 円の返却は、エスクロ機能により保留されている 1 枚と 500 円硬貨によって行う。
収納枚数	再鑑券 約 100 枚 完封券 約 130 枚± 20 枚

3-5 レシートプリンタ

型番	三栄電機株式会社製 SK1-22
印刷方式	サーマルラインドット方式（漢字対応）
印字幅	54 mm（432 ドット、8 ドット/mm）
印字速度	Max. 200mm/ s
用紙充填方法	ドロップイン方式
用紙サイズ	紙幅 58/60mm 紙厚 59 ～ 150 μ m 外形 φ 83mm 以下
プリント可能枚数	最大 600 枚
印字寿命	耐パルス製 2 億パルス以上 耐摩耗性 150Km 以上
カッター寿命	耐久回数 150 万カット以上（用紙厚 75 μ m 以下）
使用文字種類	半角 カタカナ、PC437/850/852/857/858/863/865/866/860/862、 WPC1252/1252_2/1254/1250/1251 全角 JIS X 0208-1990 ※ただし、課金装置により制限があります。また、ロゴ印字等のイメージ印字には対応していません。

4 電源を入れる前に

4-1 各部の名称（装置外観）



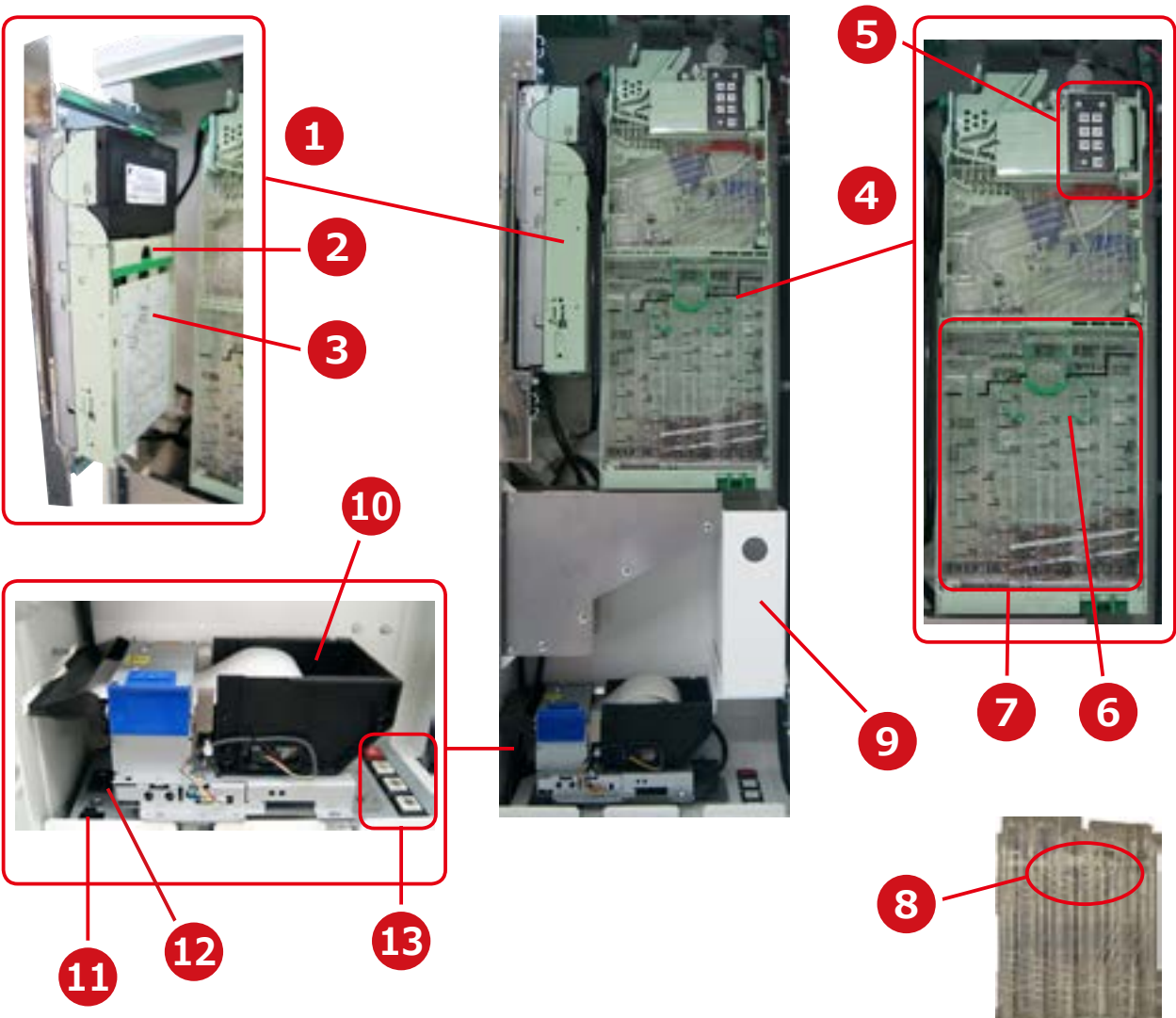
（正面）

- ①「紙幣投入口」
1000 円紙幣を投入します。
- ②「本体扉の鍵」
本体扉を開閉する鍵です。
- ③「硬貨返却口」
つり銭硬貨や返却硬貨の返却口です。
- ④「領収書プリント口」
レシートがプリントされます。

（上部）

- ⑤「領収書発行ボタン」
レシートを発行するためのボタンです。
- ⑥「返却ボタン」
紙幣と硬貨の返却をするためのボタンです。
- ⑦「硬貨投入口」
5、10、50、100、500 円硬貨を投入します。
※ 5 円を使用しない場合はシールを張り替えてください
- ⑧「表示ランプ」
各種設定を行う際の表示や、エラー番号、取引中の金額を表示します。

4-2 各部の名称（内部装置）



- ①「ビルバリデータ（以下 B/V）」
- ②「スタッカラッチ」
紙幣を取り出すときに使用します。
- ③「スタッカ」
紙幣を収納します。
- ④「コインメカニズム（以下 C/M）」
- ⑤「イベントリースイッチ」
各種設定を行います。
- ⑥「カセットレバー」
カセットチューブを取り出す時に使用します。
- ⑦「カセットチューブ」
つり銭を収納します。

- ⑦「カセットチューブ」
つり銭を収納します。
- ⑧「つまみ」
つり銭を取り出すときに使用します。
- ⑨「金庫」
収納枚数を超えた硬貨が収納されます。
- ⑩「レシートプリンタ」
- ⑪「USB ケーブル挿し込み口」
- ⑫「電源」
- ⑬「設定ボタン」
オプションの設定などを行います。

（カセットチューブ）
背面

4-3 表示ランプについて



①「7セグメント表示 LED」

入金金額・取引金額を4桁の数字で表示します。表示金額が10,000円以上の5桁となった場合、上位1桁→下位4桁と2段階に分けて表示します。

エラーが発生した際は、エラーコードを表示します。また停電や致命的エラーが発生して電源を再投入した場合、障害前の残金が存在するときは、その金額を点滅表示します。

オプションの設定値も表示します。

②「販売中」ランプ（青）

お金の受け付け、印刷の可否状況を示します。

③「領収書」ランプ（青）

取引が終了し、「領収書発行ボタン」が押されたとき、発行が有効な設定時間内（20秒または60秒間）点灯します。また、最後の10秒間は点滅となります。

④「用紙切れ」ランプ（赤）

領収書用紙の残量が少なくなってきたとき、表示されます。

⑤「100円釣銭切れ」ランプ（赤）

カセットチューブ内の100円硬貨が13±3枚以下になったとき、表示されます。

⑥「10円釣銭切れ」ランプ（赤）

カセットチューブ内の10円硬貨が13±3枚以下になったとき、表示されます。

⑦「5円釣銭切れ」ランプ（赤）

カセットチューブ内の5円硬貨が15±3枚以下になったとき、表示されます。

4-4 設定ボタンについて



①「A」ボタン

確認・実行などの意味で、オプション設定時に利用します。また、電源投入時もしくは待機中に2秒以上の長押しを行うことで、オプション設定への移行動作になります。

②「+」（プラス）ボタン

オプション設定時に設定値を変更する場合に利用します。

③「-」（マイナス）ボタン

オプション設定時に設定値を変更する場合に利用します。

④「B」ボタン

中止・キャンセルなどの意味で、オプション設定時に利用します。また、復帰不可能なエラー発生時やオプション設定（の項目設定状態）時に、2秒以上の長押しを行うことで、CBEZのリセット（再起動）の操作となります。

5 電源を入れる、切る

5-1 電源を入れる（初期点検）

製品を使用する際に、以下の初期点検を行ってください。

- ① C/M、B/V、レシートプリンタが正しく装着されていることを確認します。

※ C/M 使用前には、必ずつり銭の補充を行ってください。

- ② 電源コードの電源プラグをコンセントに差し込みます。

- ③ 電源スイッチを『ON』にします。

- ④ 表示ランプに「t0」と表示された場合は、時刻の設定を行います。（32 ページ参照）

※ 工場出荷時には時刻の設定を行って出荷しています。

- ⑤ 硬貨を投入口から投入し、表示ランプに投入金額が表示されていることを確認します。
また、返却ボタンを押して投入金額が返却されることを確認します。

- ⑥ 紙幣投入口に 1000 円紙幣を挿入し、表示ランプに入金金額が表示されていることを確認します。
また、返却ボタンを押して入金金額が返却されることを確認します。

- ⑦ 販売中のランプが青色に点灯していることを確認します。

これらが正常に動作していることが確認できたら、本体または USB インターフェイスより価格設定や各種オプション設定などを行います。



警告

「リソグラフ」との接続については、「リソグラフ」の取扱い説明書をご確認ください。
取引を開始する際は本体扉を閉め、鍵のかけ忘れおよび取り忘れにご注意ください。



5-2 電源を切る

使用後は電源スイッチを『OFF』にして、コンセントから電源プラグを抜いてください。

6 紙幣の回収

ビルバリから紙幣を回収します。

- ① ビルバリを引き出します。

引き出しガイドで引き出すことができます。



- ② スタッカを開きます。

スタッカラッチを押し下げ、スタッカを手前に開きます。



- ③ 紙幣を回収します。

紙幣をビルバリ内部から取り出します。

- ④スタッカを閉じます。
スタッカラッチが「パチン」と音がするまで押して、スタッカを閉じます。
- ⑤ビルバリを戻します。
ビルバリを奥まで「しっかり」と戻します。



警告

スタッカは「パチン」と音がするまで確実に閉じてください。誤動作や故障の原因となります。

7

つり銭の回収・補充

7-1 つり銭の補充

- ①カセットラッチを（緑色のレバー）を押し下げながら手前に倒して取り外します。
カセットチューブ内に硬貨がある場合、重くなりますので、両手で押さえながら外すようにしてください。



- ②カセットチューブの裏側にある 2 か所のツメを親指と人差し指でつまみながら開きます。
- ③各硬貨をそれぞれの金種のチューブに最低枚数以上補充します。

C/M の構造上、カセットチューブに十分なつり銭がない場合に正常に硬貨を返却しない場合があります。

最低枚数

【5 円】	最低 18 枚以上
【10 円】	最低 16 枚以上
【50 円】	最低 16 枚以上
【100 円】	最低 16 枚以上
【500 円】	最低 10 枚以上



- ④補充が完了したら扉を閉めて「カチッ」と音がするところまではめ込んでください。
- ⑤カセットチューブの前面下部を C/M 前面に合わせて「パチン」と音がするまではめ込みます。
- ⑥表示パネルにつり銭切れランプが点灯していた場合は、ランプが消灯したことを確認します。

**警告**

つり銭を補充する場合は、カセットチューブ内でのコイン立ちにご注意ください。
また、変形・キズ・汚れのある硬貨は、詰まりの原因になりますので使用しないでください。

7- 2 つり銭の回収

前項『つり銭の補充』を参照し、カセットチューブを開いて硬貨を回収してください。

8

金庫の硬貨の回収

C/M カセットチューブ内の収納枚数を超えた硬貨は金庫に収納されます。
穴に指を入れて金庫を引き出し、金庫のなかの硬貨を取り出します。
金庫の収納枚数は最大 300 枚です。(すべて 100 円の場合)
取り出し後は、確実に奥までしまってください。



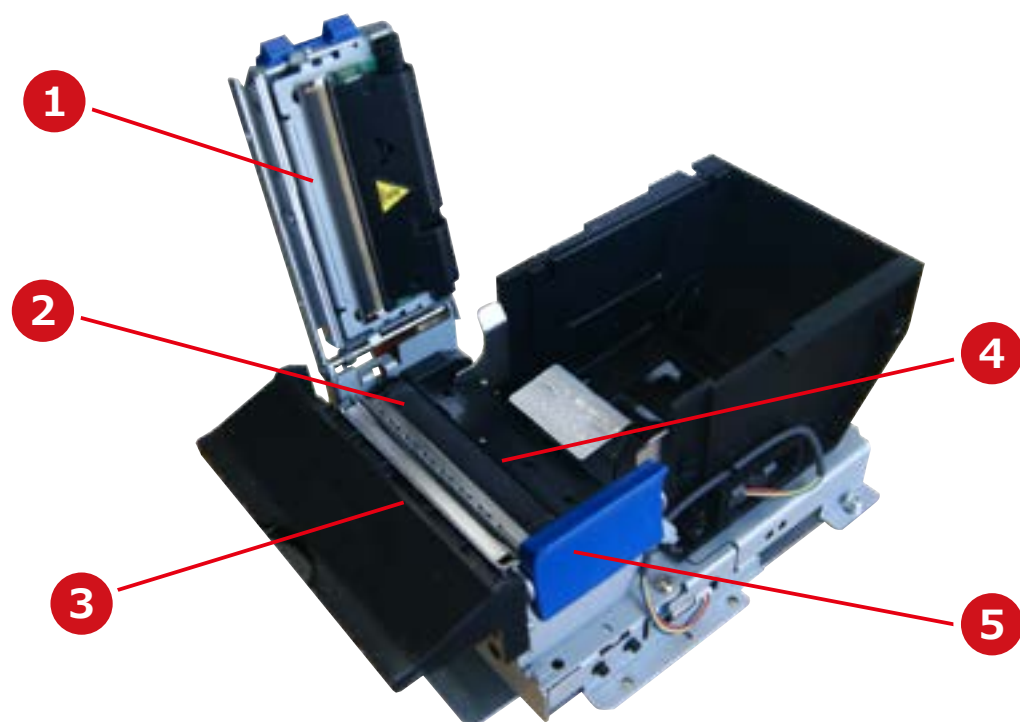
9 レシート用紙の交換・紙詰まり

9-1 レシート用紙切れについて

用紙切れはペーパーニアエンドとペーパーエンドの2段階で検出します。ペーパーニアエンドを検出すると、本体表示ランプの用紙切れランプが「赤」に点灯しますが、ON-LINE を維持します。

その後ペーパーエンドを検出すると、表示パネルにエラー番号「E62」が表示されて OFF-LINE となりますので、ペーパーエンドが検出される前の用紙交換をおすすめします。

9-2 内部構造



①「サーマルヘッド」

感熱紙に文字やグラフィックデータを印字します。

②「紙送りローラ」

印字（サーマル）ヘッドとの摩擦力で用紙を送ります。

③「ペーパーカッター」

感熱紙をカットします。

④「ペーパーエンドセンサー」

用紙の有無を検出します。このセンサーが紙無しの状態を検出すると印字を停止します。

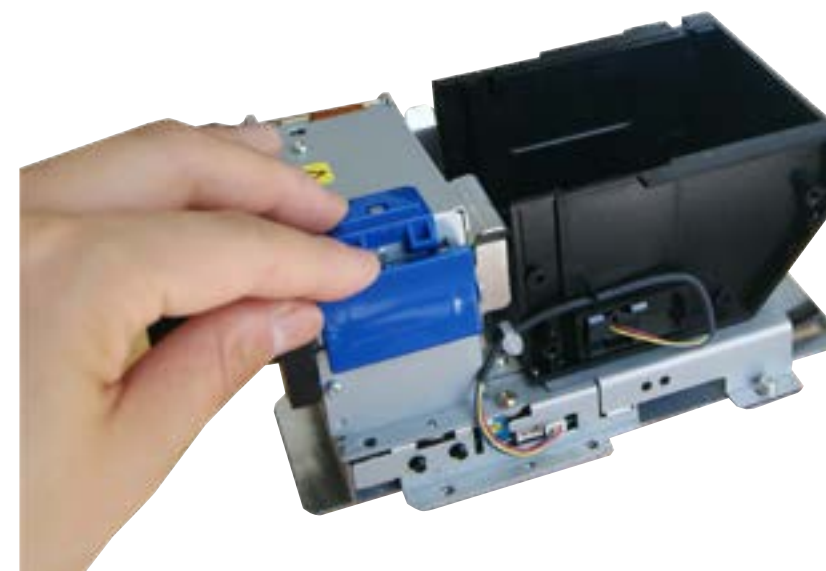
⑤「ヘッドオープンボタン」

サーマルヘッドを開閉します。

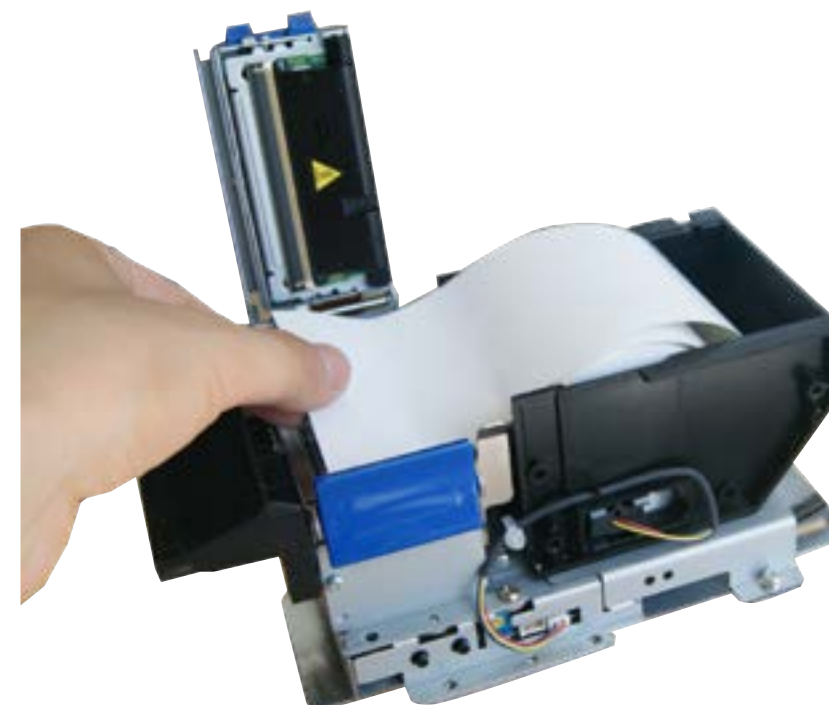
9-3 用紙のセット

9-3.1 ヘッドオープンボタンによりセットする場合

①ヘッドオープンボタンを押して、サーマルヘッドを開けます。



②用紙を図の向きにセットします。（紙の表裏が反対ですと印字しません。）



③用紙の先端を、用紙排出口より前に出して、サーマルヘッドを押し込んで閉じます。

9-3.2 オートローディングを使用する場合

- ①ペーパーホルダーに用紙をセットします。
- ②用紙をサーマルヘッドへ通します。
- ③ペーパーエンドセンサーが検出するまで通すと、自動的に用紙を送ります。



警告

- ペーパーカッターの刃先で手を切らないように注意してください。
- サーマルヘッドを閉じたときは、確実にロックされていることを確認してください。
- 紙が詰まった場合は、同様の操作で対処してください。

9-4 レシート用紙の仕様

オプション品のレシート用紙の仕様は以下です。
オプション品以外のロール紙を使用される場合は、P.15 に記載された用紙サイズをご確認ください。

種 類	サーマルロール紙（感熱紙）
紙 幅	58 mm
紙 厚	75 um
長 さ	66 m

9-5 カッター切断途中の紙詰まり処置

- ①接続している電源を切断します。
- ②ヘッドオープンボタンを押して、サーマルヘッドを開いて用紙を除去します。
- ③サーマルヘッドを閉じて、電源を再投入します。



警告

カッター紙詰まりの除去は、必ず電源を切断した後に行ってください。
用紙排出口は危険ですので、指などを入れないでください。

10

硬貨の切り替え

C/M における 5 円使用の on/off、サブチューブの金種の切り替え（10 円 /100 円）方法は以下です。

- ① C/M 左側にあるアクセプターラッチのつまみを下げて、硬貨選別機（アクセプター）を前に倒して、取り外してください。



- ②硬貨選別機の背面にディップスイッチと設定機能割付け一覧表があります。
5 円を使用する場合は、8 連ディップスイッチの 8 番を「OFF」にします。
5 円を使用せずに、サブチューブを「10 円」チューブとして使用する場合は、8 連ディップスイッチの 8 番を「ON」にして、1 番を「OFF」にします。「100 円」チューブとして使用する場合は、8 番と 1 番をともに「ON」にします。



※ 5 円使用の on/off に関しては、後述のオプション設定と合わせて行ってください（P.38 ⑧参照）

11

制御仕様

11-1 動作状態

11-1.1 初期化

電源投入直後または基板のリセット（再起動）後は、初期化処理を行います。主に、バックアップデータの復元や C/M, B/V のリセットなどを行います。基板の初期化やデータ復元後、C/M, B/V のリセット直前の時点で、A ボタンが押されていればオプション設定に移行します。

通常の初期化処理では、続いて C/M, B/V の初期化処理を行います。このとき C/M は未接続であるか通信が確立できないとき致命的エラーとなります。B/V は未接続であるか通信が確立できないときは B/V は存在していないものとみなします（但し、B/V の存在が確認された後に、B/V との未接続や通信障害が発生すると致命的エラーとなります）。B/V の接続状態は自動認識しますので設定等は有りません。

基板の起動直後の初期化時に、時計（RTC）の状態を確認します。RTC の値が初期値（RTC がバックアップされていない 2000/01/01 00:00:00、ただし、時刻の最小設定は 2015/01/01）場合、オプション設定の時計設定に自動的に遷移して待機します。時刻の設定が完了しないと待機状態へ遷移しません。時計（RTC）は、バックアップ用のボタン電池でバックアップされています。起動時、毎回時計設定になる場合、電池の消耗が考えられますので、電池を交換してください。

最後にブザーで起動音を鳴らし、待機状態に移行します。

11-1.2 待機中

入金を受け付ける状態で待機している状況です。

また、待機中に残金が存在する状態で C/M の返却ボタンが ON されるか、設定モードへ移行されると、清算処理（つり銭返却）へ移行します。

（１）入金可能条件

- ・エラーが発生していない状態

（２）入金禁止条件

- ・初期化処理中
- ・精算処理中
- ・領収書印刷中
- ・返却処理中
- ・設定モード

11-1.3 販売中（減算状態）

待機中に有効なコラム（用紙情報）が入力されると、販売中（減算状態）となります。CBEZ はコラムに設定されている金額で販売を開始し、監視を始めます。

販売中はコラムに設定されている金額を減算し、更に選択されているコラムの販売が可能な間は販売中状態を保ちます。選択されているコラムの販売が不可能（残金不足、おつり返却不可）になった場合は販売不可となります。

販売中状態が終了すると、待機状態へ遷移しますが、残金がある場合、販売は継続しているものとして次の販売のための監視を行います。ここで、続けて入金金額と選択コラムを監視し、販売可能な状態になった場合は、同様の販売（減算処理）をおこないます。この処理を残金が 0 円になるか、返却操作を行うまで繰り返します。

残金が 0 円または、返却操作を行った場合は販売内容を保持しつつ精算処理に遷移します。

（１）入金条件

硬貨の入金上限は、1 取引内で 5,500 円とします。紙幣併用の場合は最大 6,000 円となります。

紙幣の入金条件は、5 0 0 円硬貨の残枚数（つり銭払出し可能枚数）と硬貨投入枚数により異なり、4 枚を最大として 1 枚から入金可能です。

（２）端数処理条件

端数処理モード		切り捨て	切り上げ
0	切り上げ		0.1 ～ 4.9
			5.1 ～ 9.9
1	四捨五入	0.1 ～ 2.4	2.5 ～ 4.9
		5.1 ～ 7.4	7.5 ～ 9.9
2	切り捨て	0.1 ～ 4.9	
		5.1 ～ 9.9	
3	二捨三入	0.1 ～ 1.4	1.5 ～ 4.9
		5.1 ～ 6.4	6.5 ～ 9.9

〔図表 1〕 5 円有効の場合の端数処理

端数処理モード		切り捨て	切り上げ
0	切り上げ		0.1 ～ 9.9
1	四捨五入	0.1 ～ 4.9	5.0 ～ 9.9
2	切り捨て	0.1 ～ 9.9	
3	二捨三入	0.1 ～ 2.9	3.0 ～ 9.9

〔図表 2〕 5 円無効の場合の端数処理

無料コピーを防ぐため、販売実績が有るにもかかわらず端数処理の結果が 1 販売の利用の金額合計が 0 円になる場合は、強制的に切り上げ課金する。（ただし、コラム設定が 0 円で合計金額も 0 円の場合は切り上げしない）

(3) 表示条件

販売（減算）が行われた場合、内部処理では常に端数処理を行い、0.1円～9.9円（5円使用有りの場合は、0.1円～4.9円）を保持する。
残金が完全に0となった場合、残金表示は消灯する。

(4) 残金0（“0”円表示）処理条件

減算の結果残金が5円未満（5円使用の場合）または、10円未満（5円未使用の場合）になった場合、残金表示は“0”を表示する。これは完全に残金が0円ではなく、5円または10円未満の端数が内部では保持している。
“0”円が表示されている時は、取引を継続可能とする。
“0”円表示中に追加入金した場合、内部保持金額と合算し計算する。（取引は継続中）
“0”円表示中に取引を中止するには、返却レバーを押下する。その場合、返金はなし。
また、誤って返却レバーが押された場合も内部保持金額は0円となり、取引は終了する。
領収書の印刷は、残金が完全0円になった場合、もしくは返却レバーを押下したのち発行される。

(5) コラム設定0円の条件

0円販売の処理に遷移する前に残金が5円以上（5円使用の場合）または、10円以上（5円未使用の場合）残金があれば、0円での販売が可能となる。
さらに、領収書の印刷設定がある場合、印刷枚数をカウントし領収書印刷を行う。

11-1.4 清算処理（つり銭返却）

清算処理とは、入金状態を一旦OFF状態とした後に、販売中に入金された金額情報や、販売されたコラム情報を保存して残金がある場合つり銭の返却を行います。つり銭の返却が完了し残金が0円になった後、C/M、B/Vの販売中に入金情報、払出し情報等をクリアし待機状態へ遷移します。
コピー中は返却レバー操作は受け付けません。
また、領収書の印刷設定がある場合、販売内容を元に領収書印刷を行います。

11-1.5 オプション設定

待機状態でOKボタンを2秒以上長押しするか、OKボタンを押したまま電源投入すると、オプション設定に移行します。
オプション設定では価格や連続販売許可回数など各種設定や、売上管理項目の閲覧などを行うことができます。
参照：「11-3 オプション設定（設定モード）」項

11-1.6 領収書印刷

精算処理が完了後、設定により領収書を発行します。設定が自動発行に設定されている場合、精算処理完了後、現在の取引の販売内容で領収書を発行します。領収書の発行を20秒または、60秒に設定している場合、取引が完了後、領収書LEDが指定の秒数点滅します。その間に領収書ボタンを押下した場合、領収書を発行します。領収書LEDの点滅が完了し、消灯後に領収書ボタンを押下しても領収書は発行できません。領収書LEDの点滅は残り10秒になると点滅速度が速くなります。
また、何らかの理由で領収書の発行ができなかった場合、設定モードから最後の取引の領収書がいつでも発行できます。発行できる領収書は最後取引した1回の情報のみです。

領収書コメント1～4の使用文字列について

- ・全角で16文字（半角で32文字）までの文字列を指定可能です。
- ・プリンタで使用可能なフォントのみ印字できます。（全角 JIS X 0208-1990）漢字によっては印字できない漢字もあります。

識別文字列の使用文字列について

- ・半角英数8文字までの文字列を指定可能です。

領収書の印字イメージを以下に示します。

領 収 書

ご利用ありがとうございます

□□□□□□□□□□□□□□□□

2015年1月1日00時00分

【利用枚数】

1色Sサイズ1枚

2色Sサイズ1枚

.

.

【合計金額】

円

【入金金額】

円

【おつり】

円

xxxxxxxx-No.0000

領収書コメント1 印字領域（変更可）

領収書コメント2 印字領域（変更可）

領収書コメント3 印字領域（変更可）

領収書発行日時印字領域

販売内訳（枚数）印字領域

販売合計金額印字領域

入金金額印字領域

おつり金額印字領域

識別文字列・領収書発行通番号印字領域
（識別文字列の初期値は空白（変更可））
発行通番は領収書を印刷毎にインクリメントする（0000～9999）。最大値後0に戻る

11-2 オプション設定（設定モード）

販売価格の設定や販売実績の確認など、各種の動作設定・閲覧は「オプション設定」から行います。オプション設定は、4つの操作ボタンからの入力と7セグメントLEDモジュールの表示で操作します。

オプション設定への移行は、「A」ボタンを押しながら電源投入するか、待機中に「A」ボタンを2秒以上連続して長押しすることで行えます。オプション設定への移行が完了すると、最初の設定項目「P 1」の表示とともに、オプション設定移行完了の確認ブザー音が鳴ります。

項目番号	設定内容	設定可能値
p0 ～ pf	コラム 1 ～ 1 6 価格設定	価格設定範囲
C0 ～ CF	コラム 1 ～ 1 6 販売実績カウンタ	[閲覧のみ]
EC	領収書・売上集計に印刷される通番のカウンタ値	[閲覧のみ]
EA	(Earning) 前精算時から総売上高	[閲覧のみ]
o1	(Option 1) 領収書発行時間設定	0 ～ 2
o2	(Option 2) ブザー音 オン/オフ設定	on / off
o3	(Option 3) 端数処理設定	0 ～ 3
o4	(Option 4) 5 円硬貨対応	on / off
o5	(Option 5) 領収書プリンタ	on / off
o6	(Option 6) 減算モード	0 ～ 1
t0	時計設定	2015/1/1 ～ 2099/12/31 00:00 ～ 23:59
t1	時計調整値 (遅れる場合 + 値、進む場合 - 値)	+31 ～ -31
Pr1	前回取引の領収書印刷 (バックアップ)	[操作のみ]
Pr2	前回カウンタクリア後の売上集計印刷	[操作のみ]
Pr3	設定金額一覧印刷	[操作のみ]
AC	(All Clear) カウンタ類を全て 0 クリアし、各設定値を出荷時設定に戻す。	[確認操作のみ]
CL	(Clear) カウンタ類を全て 0 クリアする。	[確認操作のみ]

〔図表 3〕オプション設定 項目一覧

11-2.1 オプション設定の操作方法

オプション設定では次の3段の操作となります。

①項目選択

項目選択時は、設定（または閲覧や操作）したい項目の選択を行います。[表 8] に示す順で、「+」ボタンを押すと下方向に、「-」ボタンを押すと上方向に、順に変化します。設定したい項目で、「A」ボタンを押すと次の段階へ移行します。

[閲覧のみ] の項目や [確認操作のみ] の項目については、次の段階は確認操作となり設定値選択はありません。その以外の項目（設定値を選択するもの）については、次の段階は設定値選択となります。

また、項目選択のとき「B」ボタンを2秒以上連続して長押しすると、CBEZ はリセット（再起動）され同時にオプション設定から抜けることとなります。

※設計ボタンの操作については P.19「4-4 設定ボタンについて」を参照ください。

②設定値選択

設定値選択では、選択項目の [表 8] に示す設定値範囲で設定値を選択します。設定値選択への移行直後は、現在の設定値が表示されます。「+」ボタンで値増加、「-」ボタンで値減少の操作となります。尚、「+」ボタン、「-」ボタンとも、0.5 秒以上の長押しをすると、離すまでの間、急速増加・急速減少となります。

設定値が決定したら、「A」ボタンを押すことで確認操作へ移行します。

「B」ボタンを押すと、操作をキャンセルし（設定値は変更されず）項目選択へ戻ります。

③確認操作

確認操作では、項目番号と設定値選択を経た項目では新設定値、[閲覧のみ] 項目の場合は現在値が2秒周期で表示されます。[確認操作のみ] 項目は、項目番号のみが点滅表示となります。ここでは、「+」ボタン、「-」ボタンとも操作は無効で、「A」ボタン、「B」ボタンのみが有効です。

確認表示中に、OK ボタンを押すと確認したと認められ、新設定値を指定したものについてはここで値がメモリに書き込まれます。[確認操作のみ] 項目については選択した動作を実行します。[閲覧のみ] 項目は何も行いません。それぞれの処理が終了したら、項目選択へ戻ります。

「B」ボタンを押すと、中止したと認められ設定値の変更など確認処理動作は行われず、項目選択へ戻ります。

11-2.2 各設定内容

①コラム別価格設定（P 0 ～ P F）

[表示例] P1

各コラムの販売価格（単位：円）に設定です。

②コラム別販売実績カウンタ（C 0 ～ C F）

各コラムのコラム別販売数量（単位：回）のカウンタで、閲覧専用項目です。

4桁固定で、0000 ～ 9999 の範囲の値になります。

あるコラムが販売されたとき、そのコラムのカウンタが+ 1 されます。9999 を超えると 0000 になります。従って、本値を参照する必要がある場合は定期的にチェックする必要があります。

値の表示は、上位 2 桁と下位 2 桁が分けて表示されます。最初に左寄せで上位 2 桁が、次に右寄せで下位 2 桁が表示されます。

[表示例] C1= 1234 → コラム 1 通算販売回数カウンタ「1234」

③領収書・売上集計に印刷される通番のカウンタ値（E C）

領収書・売上集計に印刷される通番のカウンタ値で、閲覧専用項目です。

4桁固定で、0000 ～ 9999 の範囲の値になります。

領収書印刷を一度行うたびにカウンタが+ 1 されます。9999 を超えると 0000 になります。

値の表示は、上位 2 桁と下位 2 桁が分けて表示されます。最初に左寄せで上位 2 桁が、次に右寄せで下位 2 桁が表示されます。

[表示例] EC = 5678 → 通算精算回数カウンタ「5678」

④総売上高（E A）

前回のクリア時を 0 として、そのときからの全コラム通じての総売上高（単位：円）を示す項目で、閲覧専用項目です。

7桁固定で、000 0000 ～ 999 9990 の範囲の値になります。

後述のオールクリアで 0 にクリアされます。1 取引が完了した時点で取引の合計金額が本値に加算されます。

本値が、999 9990 を超えたときは 999 9990 でカウンタストップとなります。

値の表示は、上位 3 桁と下位 4 桁が分けて表示されます。最初に左寄せで上位 3 桁が、次に下位 4 桁が表示されます。

[表示例] EA = 1234560 → 前回精算時からの総売上 1,234,560 円

⑤領収書発行時間設定（o 1）

[表示例] o1

領収書の発行時間の設定を行います。

本値の設定範囲は、0 ～ 2 になります。

‘00’を設定した場合は、取引完了後領収書ボタンの操作無しに領収書を発行します。

‘01’を設定した場合は、2 0 秒間領収書発行 LED が点滅します。LED が点滅している間（2 0 秒間）に領収書ボタンを押下すると領収書を発行します。残時間が 1 0 秒になると点滅速度が早くなります。領収書発行 LED の点滅が終了すると、領収書ボタンを押下しても領収書を発行しません。

‘02’を設定した場合は、6 0 秒間領収書発行 LED が点滅します。LED が点滅している間（6 0 秒間）に領収書ボタンを押下すると領収書を発行します。残時間が 1 0 秒になると点滅速度が早くなります。領収書発行 LED の点滅が終了すると、領収書ボタンを押下しても領収書を発行しません。

出荷時初期値：‘00’

⑥ブザー音 オン／オフ設定（o2）

o2

[表示例] o2

ブザー音を鳴らすか否かの設定です。

オフ設定のときは、一切ブザー音は鳴りません。

表示は、オン設定のとき「o n」、オフ設定のとき「o F F」となります。

出荷時初期値：‘o n’

on oFF

[表示例] on, oFF

⑦端数処理設定（o3）

o3

[表示例] o3

課金（減算）処理時の端数処理方法を設定します。

‘00’ を設定した場合は、切り上げに設定します。

‘01’ を設定した場合は、四捨五入に設定します。

‘02’ を設定した場合は、切り捨てに設定します。

‘03’ を設定した場合は、二捨三入に設定します。

出荷時初期値：‘00’

⑧ 5 円硬貨対応

o4

[表示例] o4

本設定は、C/M の 5 円硬貨の動作モードを選択します。

‘On’ に設定した場合、5 円硬貨の払出し、入金に対応します。また、内部の端数処理は 5 円単位で行います。C/M のサブチューブの設定も同時に 5 円硬貨に設定する必要が有ります（重要）。ここに 1 0 円、1 0 0 円硬貨をつり銭用にセットしないでください。

‘OFF’ に設定した場合、5 円硬貨の払出しも受けもしません。また、内部の端数処理は 1 0 円単位で行います。C/M のサブチューブは設定によって、1 0 円硬貨用、1 0 0 円硬貨用に切り替が可能です。

出荷時初期値：‘o n’

on oFF

[表示例] on, oFF

⑨領収書プリンタ

o5

[表示例] o5

本設定は、領収書用プリンタを取り付ける場合に ON に設定します。プリンタを取り付けても本設定が OFF の状態では印刷は実行されません。逆に、プリンタを取り付けない状態で本設定を ON に設定した場合は通信異常のためエラーになります。

出荷時初期値：‘o n’

on oFF

[表示例] on, oFF

⑩減算モード

o6

[表示例] o6

本選択は、印刷機インターフェイスの、/ 給紙信号と / 排紙信号とで減算を行うモードです。

‘00’ を設定した場合は、/ 給紙信号と / 排紙信号を監視する標準減算モードになります。

‘01’ を設定した場合は、/ 給紙信号のみを監視する給紙減算モードになります。

出荷時初期値：‘00’

⑪領収書印刷

pr1

[表示例] Pr1

本設定は、最後取引された内容の領収書を印刷します。保存される取引情報は最後の 1 取引のみです。本内容は電源が切られても保存しますが、購入を伴わない入金、返金等の操作を行った場合、最後の取引は無効になり保存情報はなくなります。保存情報の有無は「決定」ボタンの押下することで確認できます。保存情報が存在する場合 ‘On’ を表示し、無い場合 ‘OFF’ を表示します。

on oFF

[表示例] on, oFF

‘On’ の表示中に「決定」ボタンの押下することで領収書の印刷ができます。領収書の印刷フォーマットは、「5.1.6 領収書印刷」と同様です。

⑫売上集計印刷



[表示例] Pr2

本設定は、前回カウンタクリア後の売上を印刷します。印刷手順は「領収書印刷」と同様です。
売上集計の印字イメージを以下に示します。

売上集計		ヘッダ 売上集計	
2015 年 1 月 1 日 00 時 00 分		印刷時刻（年月日時分）	
【利用内訳】		販売枚数 カウンタークリア後に累積された販売コラム毎 の販売枚数	
1 色 S サイズ	1 枚		
1 色 L サイズ	1 枚		
2 色 S サイズ	1 枚		
2 色 L サイズ	1 枚		
製版 S サイズ	1 枚		
製版 L サイズ	1 枚		
RLP S サイズ	1 枚		
RLP L サイズ	1 枚		
両面印刷 S サイズ	1 枚		
両面印刷 L サイズ	1 枚		
予備 1	1 枚		
予備 2	1 枚		
予備 3	1 枚		
予備 4	1 枚		
予備 5	1 枚		
予備 6	1 枚		
【合計金額】		販売合計金額	
xxxxxxxx-No.0000		カウンタークリア後に販売された金額合計	
1		識別文字列・発行通番	



[表示例] Pr3

本設定は、設定されている金額を印刷します。印刷手順は「領収書印刷」と同様です。
設定金額印刷の印字イメージを以下に示します。

設定金額		ヘッダ 設定金額	
2015 年 1 月 1 日 00 時 00 分		印刷時刻（年月日時分）	
【設定内容】		設定金額内容	
1 色 S サイズ	3.0 円		
1 色 L サイズ	3.0 円		
2 色 S サイズ	2.0 円		
2 色 L サイズ	2.0 円		
製版 S サイズ	30 円		
製版 L サイズ	30 円		
RLP S サイズ	1 円		
RLP L サイズ	2 円		
両面印刷 S サイズ	1.0 円		
両面印刷 L サイズ	1.0 円		
予備 1	0.0 円		
予備 2	0.0 円		
予備 3	0.0 円		
予備 4	0.0 円		
予備 5	0.0 円		
予備 6	0.0 円		

⑬オールクリア（A C）



[表示例] AC

オールクリアは、カウンタ類を全て 0 クリアし、全ての設定値を出荷時初期値に再設定する初期化
処理です。

項目選択でオールクリアを選択すると、再度オールクリアを行うかの確認（項目番号の点滅表示）
を行います。ここで「A」ボタンを押すとオールクリアを実行します。

出荷時初期値を以下に示します。

投入金額		0 円
単価設定	1 色印刷 S サイズ、1 色印刷 L サイズ	1.0 円
	2 色印刷 S サイズ、2 色印刷 L サイズ	1.0 円
	製版 S サイズ、製版 L サイズ	30 円
	RLP S サイズ、RLP L サイズ	1 円
	両面印刷 S サイズ、両面印刷 L サイズ	1.0 円
	予備 1 ～予備 6	0 円
売上枚数（総売上枚数／単価ごとの売上枚数 16 種）		0 枚
印刷関連データ	時計	2015 年 1 月 1 日
	領収書イメージ	領収書 ご利用ありがとうございます □□□□□□
	識別文字列	□□□□□□
	領収書・売上集計の通番のカウンタ	No.0001

⑭カウンタクリア（C L）



[表示例] CL

カウンタクリアは、カウンタ類を全て 0 クリアする処理です。

項目選択でカウンタクリアを選択すると、再度カウンタクリアを行うかの確認（項目番号の点滅表示）を行います。ここで「A」ボタンを押すとカウンタクリアを実行します。

11-3 バックアップ機能

CBEZ は電池などを用いない不揮発性 R A M (FeRAM) により、投入金や売上に関するデータのバックアップを常に行っています。従って、停電や致命的エラーが発生して電源を再投入することがあっても、障害前の状況を復元することが出来るようになっています。

復帰後に以前からの残金が存在するときは、その金額は点滅表示となります。

11-3.1 バックアップ機能利用に関する注意 1（過渡的状态時の対応）

「値が変化する対象となる事象の発生」から「FeRAM に書き込まれる」までの過渡的状态の間に障害が発生した場合は、必ずしも復帰後の値は正しいものとは限りませんのでご注意ください。

例えば、返金処理中に停電したとき、実際にはいくらか払い出しがなされているが全額は払い出し終わっていない状況だったとき、払い出し開始時に残金は 0 になる為復帰後の金額は 0 となります。そのため、実際の未返金金額とは一致しません。また、硬貨投入と停電がほぼ同時だった場合、C/M 側では正貨と

判定済みであっても、CBEZ 側での認知及び FeRAM への書き込みが済む前に電源断となっているケースでは、復帰後の金額は実際より最後に投入した分だけ少ない、ということになります。

11-3.2 バックアップ機能利用に関する注意 2（復帰後の返金対応）

バックアップ機能により、復帰した残金（投入金）が存在するときは、その金額は点滅表示となり、引き続き返金や販売が行えます。但し、返金を要求されたときは返金できない場合があります、その場合は復帰不可能なエラーとなりますのでご注意ください。

CBEZ は起動時の初期化で、C/M,B/V に対してもリセットを行います。C/M のエスクロ機能を ON にして、リセット時に 500 円硬貨もしくは 100 円硬貨が保留中だった場合、その硬貨は自動補充チューブではなく金庫に収納されます。その為、復帰後にバックアップ金額を返金しようとしたとき、自動補充チューブに十分な枚数がないと返金できず、返金エラーとなります。

11-3.3 エラー発生時の投入金バックアップ

エラー発生時には、発生時点での投入金額（残金）も表示します。このとき電源を切断しても、投入金額はバックアップされており、電源再投入時にはこの金額はバックアップ金額として有効入金として扱われます。

エラーからの復帰の際、投入金についてもクリアして復帰したい場合は、「B」ボタンの 2 秒以上の長押しによる基板のリセット（再起動）の操作を行って下さい。

12

エラー表示について

12-1 エラー表示

エラーには、大きく分けて次の2種類のエラーがあります。

- ・ 復帰可能なエラー
- ・ 復帰不可能な致命的エラー

復帰可能なエラーとは、「C/Mのカセットチューブが外れている」や「B/Vのスタッカが開いている」などの障害で、エラー発生要因が解消された場合に待機状態に復帰することが出来る障害になります。復帰可能なエラーが発生したときは、直ちに復帰可能なエラー表示になり、エラー原因となる障害が取り除かれるのを待ちます。エラー発生要因が解消されたとき、自動的に待機状態に戻ります。

復帰不可能な致命的エラーは、「C/M, B/V との通信障害」や「コイン払い出し不良」など、処理続行が不可能な障害や、すぐに障害を取り除くことが困難な障害を言います。復帰不可能なエラー表示からは復帰するには、電源を一旦切断し障害要因を解消した後に電源を再投入するか、障害要因を解消し「B」ボタンの2秒以上の長押しによる基板のリセット（再起動）の操作を行う必要があります。

エラー表示は、エラー番号を点滅表示し、ブザーからエラー音を鳴らします。（復帰可能なエラーと復帰不可能な致命的エラーで音の種類が異なります。） また、エラー発生時点で残金（または投入金）が存在する場合は、エラー番号の点滅表示と金額を交互に表示します。

エラー発生時に電源を切断またはリセットを行っても、エラー原因が取り除かれていなければ再び同じ（または、そのエラーが原因となる別のエラー）が発生しますので、復帰前には必ずエラー原因を取り除いて下さい。

エラーから復帰する際、電源の切断～再投入の手順による復帰方法では、残金（投入金）はバックアップされており復帰後はその金額がバックアップ金額として有効となります。「B」ボタンの2秒以上の長押しによる基板のリセット（再起動）の操作を行うことで復帰をした場合は、エラー発生時の残金（投入金）についてモリセット（＝ゼロクリア）され、復帰時は金銭未投入状態となります。

12-2 エラーコード一覧

エラー番号	エラー内容	復帰可否	対処
E11	C/Mが見つからない	×	通信に対して全く応答が無い場合に発生。CBEZとの通信線の断線や接触不良が無いか確認して下さい。
E12	C/M との重大な通信障害	×	C/M が通信に対して異常の応答をし、以後処理の続行が不可能な場合、このエラーが発生します。対応しないC/M を接続して、CBEZ の想定する通信が行えない場合にもこのエラーが発生します。
E13	C/M つり銭払出中の障害	×	C/M に対してつり銭払い出しコマンドを発行したとき、何らかの原因で NAK 応答（拒否動作）があり、つり銭払い出しができなかったときに発生します。
E19	その他の C/M 異常	○	C/M が検出し CBEZ に通知する、「コインメカニズム異常データ」に異常を示すビットがセットされているとき、このエラーが発生します。E31～E39 に当てはまらないが代表異常ビットがセットされているとき、その他のエラー（E19）として取り扱います。
E29	その他の B/V 異常	○	CBEZ に通知する、「ビルバリデータ状態データ」「ビルバリデータ異常データ」に異常を示すビットがセットされているときに発生します。E41～E49 に当てはまらないが代表異常ビットがセットされているとき、その他のエラー（E29）として取り扱います。
E31	C/M アクセプター異常	×	C/M の正常装着、コイン詰まり、C/M 本体間の接続ケーブルを確認して下さい。
E32	C/M コイン払出不良	×	規定時間内に一回の払い出し動作ができなかった場合、コイン払い出し部および表示金額（残金）の確認。データ初期化（投入金額クリア）機能を実行します。

E33	C/M 5 円エンプティスイッチ異常	○	カセットチューブ内のコイン立ち、ブリッジの有無を確認して下さい。異常がなければ、つり銭センサー等に故障の可能性があります。
E34	C/M 10 円エンプティスイッチ異常	○	
E35	C/M 50 円エンプティスイッチ異常	○	
E36	C/M 100 円エンプティスイッチ異常	○	
E37	C/M 500 円エンプティスイッチ異常	○	
E38	C/M 返却スイッチ異常	○	返却ボタンが押された状態になっていないか、硬貨が詰っていないか確認してください。
E39	C/M セーフティスイッチ異常 (カセットチューブ離脱)	○	カセットチューブの装着を確認して下さい。
E41	B/V 識別部異常	×	B/V 識別部に故障の可能性があります。
E42	B/V 紙幣払出異常	×	払い出し部の紙幣詰まりの有無を確認して下さい。
E43	B/V 引き抜き異常	×	紙幣を引き抜かれた可能性があります。
E44	B/V スタッカー異常	×	スタッカーに異常の可能性があります。
E45	B/V 札詰り	○	紙幣返却口、投入口、紙幣識別部、スタッカーに紙幣が残っていないか確認して下さい。
E46	B/V 金庫満杯	○	スタッカー内の紙幣を回収して下さい。
E49	B/V スタッカー開放	○	スタッカーを正しく閉じて下さい。
E51	返金エラー、100 円硬貨払出要求枚数過多により返金不能	×	つり銭返却処理または、返却ボタン ON などにより返金処理を行おうとした際に、C/M 内に必要な硬貨が不足している場合発生します。通常は販売前に、販売後の残金が返却できることを確認して販売するので発生しません。残金（または投入金）が存在する状態で停電などが起き、その後 CBEZ が再起動したときはバックアップ機能（後述）により、障害前の投入金額が復帰されます。しかし、障害前の現金は（自動補充チューブでない）金庫に収納済みであるため、この復帰時点で返金を要求された場合返せないことがあり、その場合に発生するエラーです。また、残金（または投入金）が存在する状態でコインカセットを取り外すと払出し可能枚数がリセットされてしまいこのエラーが発生する事があります。
E52	返金エラー、10 円硬貨払出要求枚数過多により返金不能	×	
E53	返金エラー、10 円硬貨不足により返金不能	×	
E61	プリンタとの重大な通信障害	×	通信に対して全く応答が無い場合に発生があります。CBEZ との通信線の断線や接触不良が無い か確認して下さい。
E62	ペーパーエンド（用紙なし）	○	レシートプリンタの用紙交換をして下さい。

E63	プラテンオープン	○	レシートプリンタのプラテンを正しく閉じて下さい。
E64	プリンタジャム（用紙詰まり）	×	レシートプリンタの用紙詰まりを確認してください。異常を解消し、電源の OFF/ON を実行して下さい。
E65	カッターエラー	×	レシート用紙の再セットを行うなど、異常を解消し、電源の OFF/ON を実行して下さい。

〔図表 9〕エラー番号一覧

13 USB コントロール

CBEZ では、Windows PC からの各種の設定と表示が可能です。添付の USB ドライバをインストールの上、動作状態の CBEZ を接続すると、仮想 COM ポート（シリアルポート）として制御可能な状態となります。CB-BOX-Premium 本体に、お手持ちの USB ケーブルを差し込み、PC を接続して専用のユーティリティソフトを操作します。

USB ドライバのインストール手順については、別紙の USB ドライバ説明書を参照ください。

13-1 USB ケーブルの差し込み

USB ケーブルは CB-BOX-Premium 本体、プリンタ前面にあります。ゴミなどの侵入防止のため、カバーキャップがついています。USB ケーブルを挿入する際はキャップを外し、使い終わったら忘れずにキャップを取り付けてください。

キャップが取り外しにくい場合は、ピンセットなどを使用することをお勧めします。



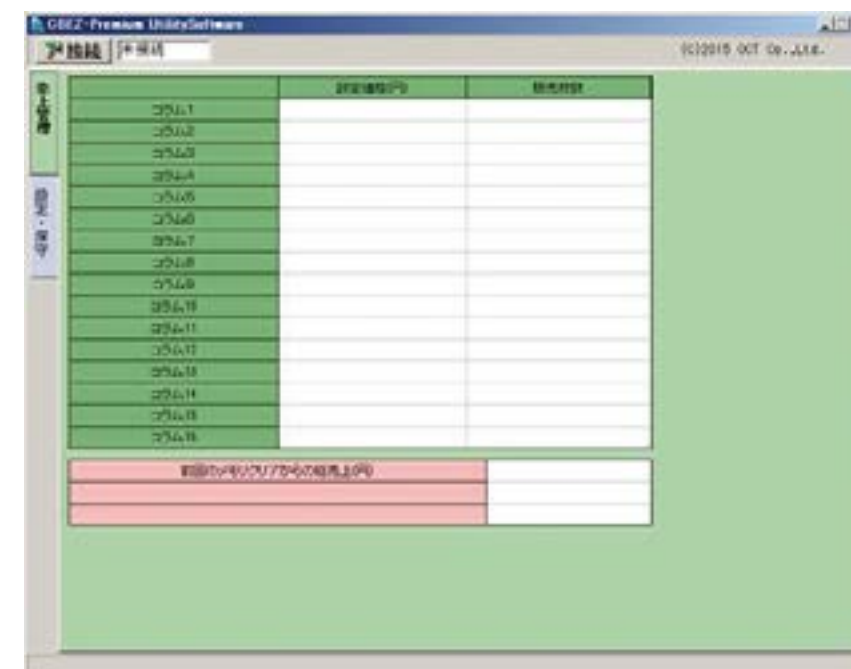
13-2 CBEZ との論理的接続

CBEZ と物理的に接続した後、制御可能な状態にする（論理的に接続する）には、通常の COM（シリアル）ポートのオープン手順と全く同じになります。

割り当てられた仮想 COM ポートが何番になるかは、インストールする PC の環境により異なります。PC や環境を変えない限り割り当てられる COM ポート番号は一定ですが、専用のユーティリティソフトでは各ポートを順に調べていき、CBEZ が接続されているポートを見つけると自動的にオープンするという方法をとります。

13-3 ユーティリティソフトの起動

ユーティリティソフトを起動すると以下の画面が表示されます。



「接続」ボタンをクリックすると CBEZ と接続し各種設定内容や情報を表示します。

13-4 ユーティリティソフトからの設定



接続が完了すると、「設定・保守」タブに現在設定されている内容が表示されます。各設定の変更と販売カウンタのリセットが行えます。

13-4.1 コラム価格の変更

「コラム x 設定」部をクリックすると以下のダイアログが表示されます。
各コラムに設定する価格を入力し価格を変更できます。



「OK」ボタンをクリックすると即金額が反映されます。

13-4.2 オプション設定

- (1) 領収書の発行時間の設定
取引完了後自動発行 / 2 0 秒間印刷可 / 6 0 秒間印刷可 から選択します。
- (2) 精算時の端数処理
切り上げ / 四捨五入 / 切り捨て / 二捨三入 から選択します。
- (3) エラー・警告 / 操作時のブザー音
あり / なし から設定します。
- (4) 5 円硬貨有効 / 無効
有効 / 無効 から設定します。
- (5) プリンタ接続
接続 / 未接続 から設定します。
- (6) 減算モード
標準モード（給排紙） / 給紙モード から設定します。

13-4.3 領収書印刷文字の設定

領収書へ印字する文字列を設定します。設定された文字列が印刷イメージ領域に表示されます。印刷イメージは参考にするもので印刷結果とは完全に一致しません。

- (1) 領収書へ印字するコメント文字列を設定します。
全角で 1 6 文字（半角で 3 2 文字）までの文字列を指定可能です。
- (2) 各コメントの印刷倍率（縦倍、横倍）を設定します。
縦・横の倍率ともに 1 ～ 4 倍まで指定可能
- (3) 領収書へ印刷する、課金装置の識別文字列を設定します。
半角英数 8 文字までの文字列を指定可能です。

13-4.4 確定送信ボタン

オプション領域で設定した設定値は、確定・送信ボタンを送信すると設定されます。確定・送信ボタンをクリックすると設定後、CBEZ が再起動される旨表示され「OK」後 CBEZ から切断されます。CBEZ は単独で再起動します。



CBEZ 再起動後、再度ユーティリティソフトを CBEZ に接続し入力した値が正しく設定されたかを確認してください。

13-4.5 カウンタークリアボタン

CBEZ に保存されているコラムの販売カウンタをクリアします。（初期値 0）
ボタンをクリックすると確認ダイアログが表示され「OK」ボタンをクリックすると即時実行されます。



14 1000 円紙幣の複数受け入れ対応

14-1 千円紙幣の複数枚受け入れ対応

CBEZ は千円札の複数枚受け入れに対応した B/V が接続されたとき、その機能に対応します。

14-1.1 受け入れ条件

2 枚目以降の紙幣を受け入れるには、紙幣投入しようとしたとき次の条件をすべて満たす必要があります。

(1) 投入済み紙幣と同金額を 500 円硬貨で返金できる状態にある。

B/V は最後にエスクロした一枚のみしか紙幣で返金できないため、返金時には C/M による返金で対応します。このため、返金できない状況での受け入れは拒否する仕様となります。

(2) バックアップ投入金がない。

バックアップによる投入金が有効な状態 (投入金額が点滅表示) のときは、返金時に返金できない可能性があるため、複数枚の受け入れを禁止します。

(3) 投入しようとする紙幣は 4 枚目以下。

入金後に購入キャンセルをされた場合や、この機能を悪用し両替目的で利用されるなどした場合、一回の取引で多量の 500 円硬貨を払い出してしまうため、500 円硬貨による代替返金は 6 枚 (=3000 円分) を上限としています。そのため、受け入れ可能な紙幣は 4 枚以下となります。

(4) 紙幣を複数枚投入する場合は合計金額が 4,500 円になるまでの間に投入。

4,505 円以上になると 2 枚目以降の紙幣は投入できない仕様となります。

14-1.2 500 円硬貨の用意

B/V はエスクロ以外の千円札は 500 円硬貨による返金となる仕様のため、「500 円硬貨が払い出せると」C/M が判断した枚数分 (但し、その回の販売で投入された 500 円硬貨を除く) だけ千円札が投入できることとなります。あくまで、「C/M」が払い出し可能と認めた枚数のみになりますので、実際に数枚の 500 円硬貨が C/M 内に存在していても、C/M が 500 円硬貨不足と判断すれば千円札の受け入れは禁止となります。(C/M が硬貨切れと判断する枚数は、富士電機製 C/M FEVT-561 の場合 8 ± 2 枚でこの時、払い出し可能な枚数は 6 枚になります。)

14-2 運用上の注意

前述のような理由から最後の 1 枚を除き千円札は 500 円硬貨による返金となります。これにより、ある程度入金があった後の購入キャンセルにより、多量の 500 円硬貨が払い出され、500 円硬貨切れになり易いという問題があります。

また、千円紙幣の 500 円代替返金の機能を悪用し両替として利用されてしまうという運用上の問題が発生する可能性があります。これらの点に十分ご注意下さい。

15 機器の据え付け



警告

機器を据え付ける際に電気工事や配管工事が必要な場合は、絶対に自分でしないでください。感電やショートによる火災、本機や建物の破損のおそれがあります。専門の業者に工事を依頼してください。

15-1 配置

■機器の外形寸法を示します。

外形寸法 高さ 930mm ×幅 350mm ×奥行 250mm

■設置場所の決定に際しては、以下の事項にご注意ください。

■アンカーの取り付けに関しましては、メーカーの使用方法に従ってください。

①本機は室内専用です。

高温、多湿の場所は避け、雨水のかからない所へ設置してください。

塵埃や振動が少ないところへ設置してください。

②据付面は、水平で丈夫な硬い面 (装置質量約 19 kg + 人の体重に耐えられること) とし、軟弱な面、腐食の恐れがある面には設置しないでください。

④扉を開けて日常の操作や保守ができるようなスペースを確保できるところへ設置してください。

⑤電源コードが通行の障害にならずまたプラグが抜けることがないようにコンセントを配置してください。

⑥設置場所の温湿度条件は温度 : 0 ~ + 40℃、湿度 : 20 ~ 85%、温度変化 : 10℃ /hour 以下で結露しないこと。

⑦消火器は、炭酸ガス消火器、ハロゲンガス消火器等の電気火災消火器を常備ください。水、泡水、粉末上の消火器は避けてください。

⑧電源ケーブル、シリアルケーブルは必ず、床配線保護カバー (ガードマン 2 (4 号)) で保護をしてお使いください。また、シリアルケーブルを無理に引っ張ったり曲げたりすると、ケーブルが破損する恐れがあり故障の原因になります。

<注意> 電源ケーブル、シリアルケーブルは強く引っ張らないでください。



警告

雨風にさらされる場所など湿気の多い場所には据付けないでください。機器が故障したり感電や漏電による火災のおそれがあります。

15-2 電気工事

電気工事には電気工事士の資格が必要です。専門の工事業者に工事を依頼してください。

15-2.1 電源

電源には必ず本機専用として下記仕様のものを設けてください。
単相 100V、50 または 60Hz、消費電力：58 W（動作時最大）
本装置はコンセントから電源を供給するようになっています。設置場所に下記のコンセントを用意してください。

コンセント規格	形状	使用例
JIS-C8303 15A 125V 2 極差し込みコンセント		松下電工 W F 1025 W F 1012

電気配線はできるだけ金属線管、または床配線保護カバー（ガードマン 2（4 号以上））で保護してください。
3P → 2P 変換アダプタをご使用になる場合は、必ずアース線を接続してください。



警告

据付工事の際には銘板を確認して、使用する電源が適合しているかどうかを確かめてください。
電源仕様が異なっていると、故障や異常動作によるけがのおそれがあります。
サービス A C コンセントに、洗濯機、掃除機、扇風機などの機器を接続しないでください。

15-2.2 アース



警告

専門の工事業者に依頼し、必ず本機専用の D 種接地工事（第 3 種接地工事）を行なってください。
万一の感電や落雷時における事故防止及び制御回路の耐ノイズ性を向上させるためです。
ただし次のようなところにはアース線を接続しないでください。
■水道管：配管の途中が塩化ビニル管の場合は、アースされません。
■ガス管：爆発や引火の危険があります。
■電話線のアースや避雷針：落雷の時大きな電流が流れて危険です。

アース工事は付属の FG 線にて行なってください。本機単独の D 種設置工事が必要です。
（注）アースについては、D 種接地工事（第 3 種接地工事）が法律で義務付けられています。

16

日常のメンテナンス

16-1 C/M の日常メンテナンス

C/M は、硬貨、ほこり、水ぬれ、異物の付着などで汚れてきます。汚れがひどくなると硬貨識別、払出性能が維持できなくなります。常に性能を維持し、長くご使用いただくために 1 か月に 1 度程度定期的に清掃してください。

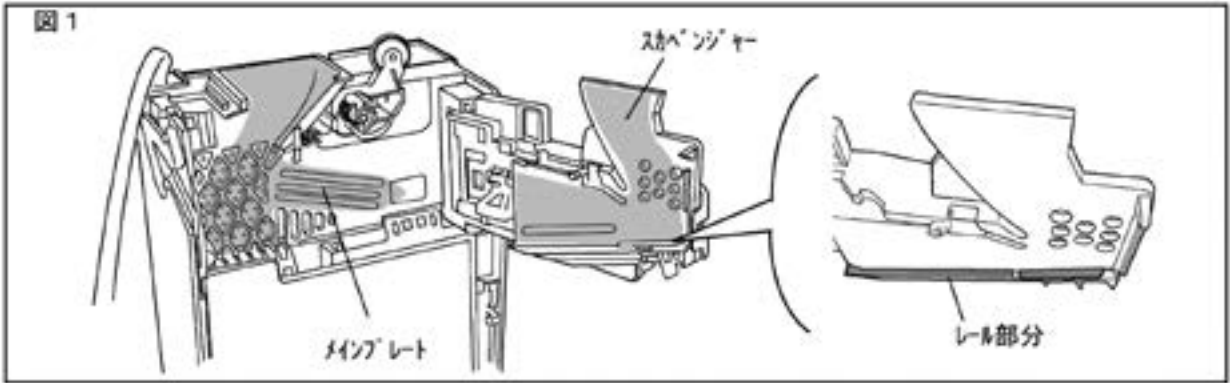
16-1.1 清掃について

このコインメカニズムには「清掃時期お知らせ機能」が標準で搭載されています。
この機能は硬貨識別精度が低下してくると、インベントリースイッチ部の「点検ランプ」で清掃時期をお知らせする機能です。点検ランプが点灯していたら、清掃をしてください。清掃後、点検スイッチを押すと、ランプは消灯します。

16-1.2 清掃方法

清掃時、つぎの箇所（網かけ部分）を清掃してください。

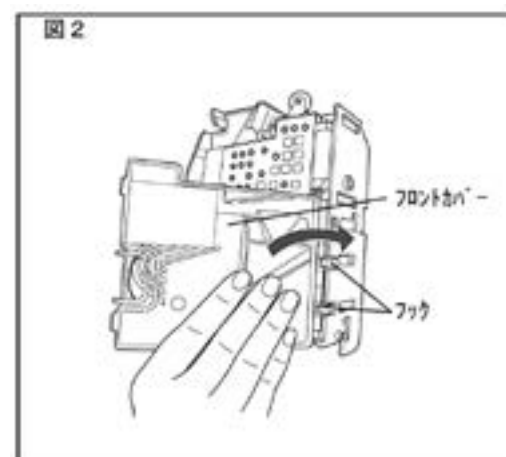
- ①メインプレートの硬貨通路面（網かけ部分）（図 1）
スカベンジャーの硬貨通路面（網かけ部分）（図 1）
特にスカベンジャーのレール部分をよく清掃してください。
※硬貨識別精度に影響します。



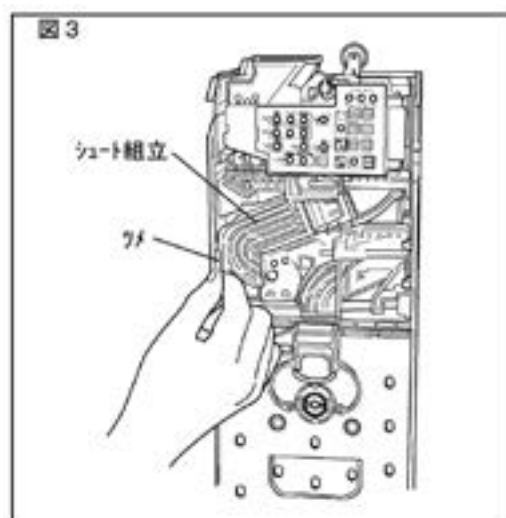
②フロントカバー、シュートA、シュートBの硬貨通路面（図5）

■シュートの分解方法

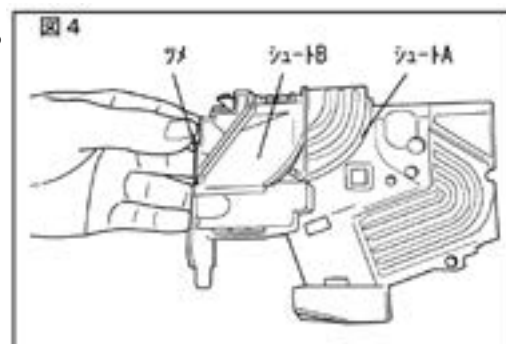
1) フロントカバーが最大開いた状態からフロントカバーの根元を持って、ゆっくり更に開けますと、ヒンジ部のフックが外れ、フロントカバーを取り外せます。



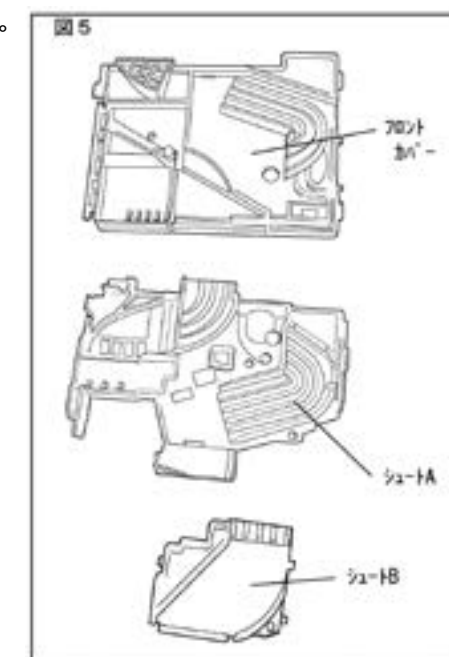
2) シュート組立のツメを右に曲げて、取外します。



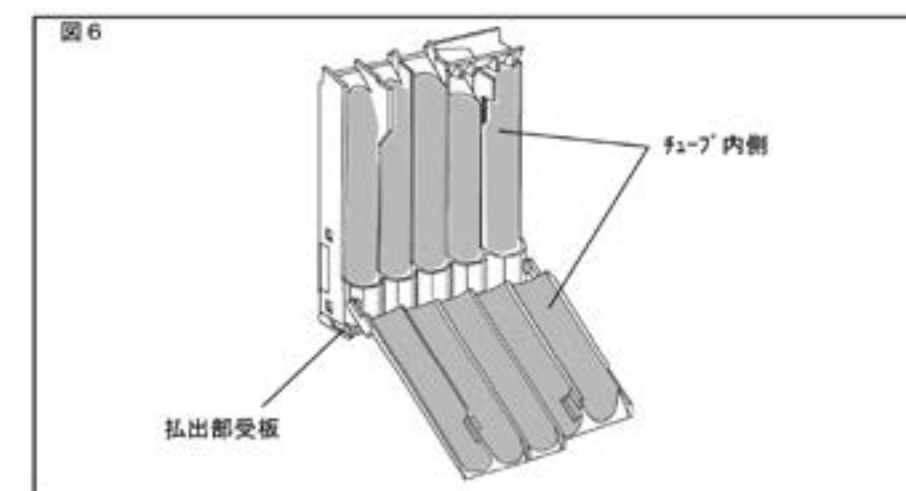
3) シュートAに付いているツメを広げてシュートBを分解します。



※再びはめるときは、取外した逆手順で取付けてください。

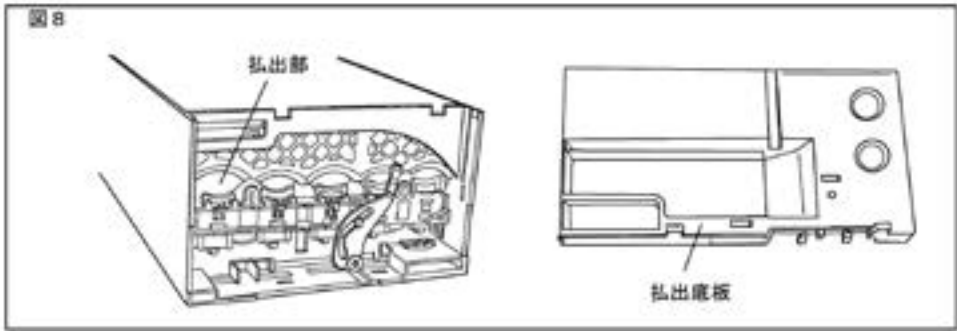
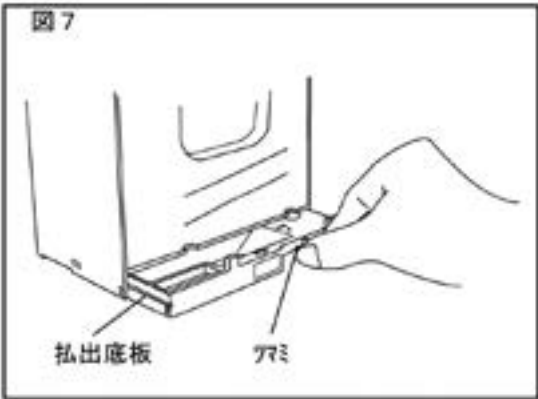


③つり銭チューブの内側、払出部の受板（図6）



④ 払出部、払出底板（図 8）

- 払出底板の分解方法
緑色のツマミを握り、手前に引きます。



16-1.3 清掃のしかた

- ① めるま湯で浸した布等を固く絞り、丁寧に汚れを拭き取ってください。
汚れがひどい場合でも、アルコールの使用は避け、薄めた中性洗剤を布等に湿らせて固く絞った状態で拭き取り、最後に水拭きで仕上げてください。
シンナー、ベンジン等の揮発性のものは絶対に使用しないでください。
- ② 清掃のときは、メインプレートについている各レバーやスプリングには十分注意してください。

16-2 B/V の日常メンテナンス

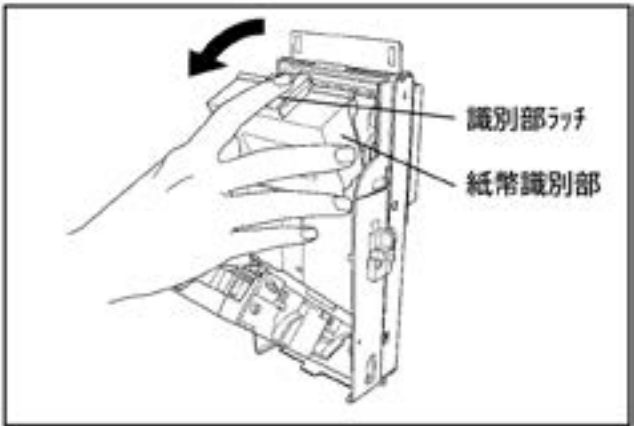
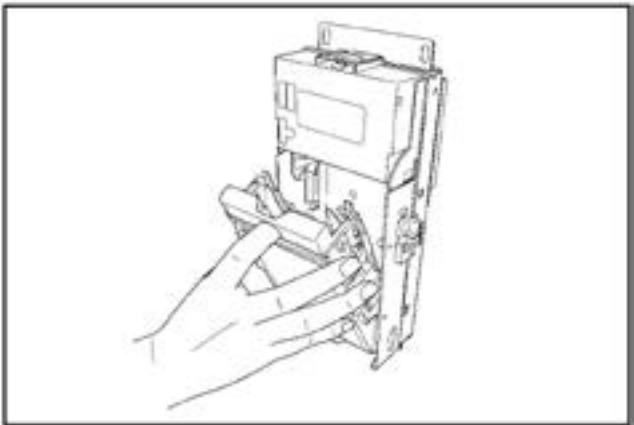
識別部（通路部も含む）は、紙幣、ほこり、水ぬれ、異物の付着などで汚れてきます。また、1～3ヶ月ぐらいに1度、必要に応じて清掃してください。
所定の性能を劣化させることなく、また、長く性能を保たせるため、定期的に保守点検をお願いします。

16-2.1 掃除について

B/V の紙幣受付率が低下した時、背面の点検ランプが緑色に点灯し、清掃時期を通知します。点検ランプが点灯していたら、清掃をしてください。

16-2.2 清掃方法

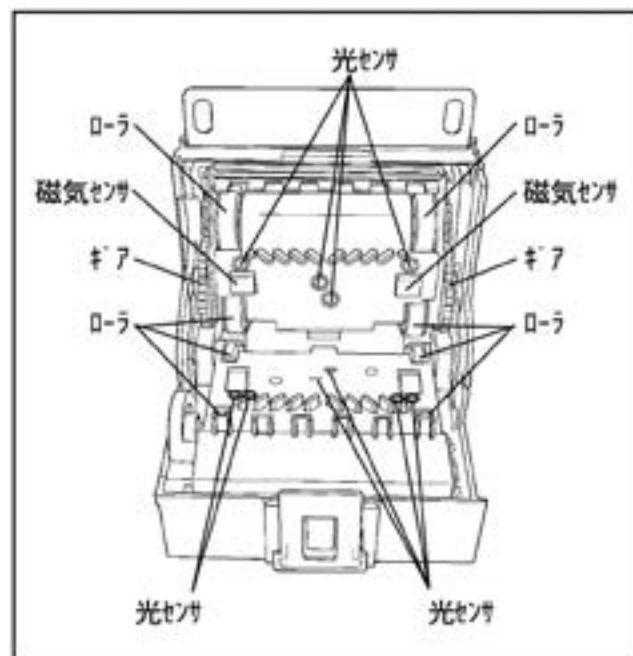
- ① ロックを下に移動します。
(ロック付機のみ)
- ② スタッカラッチを下に押さえながらスタッカを手前に引き出します。
- ③ 識別部ラッチを下方向に押しながら紙幣識別部を手前に倒します。



④ 磁気センサ、光センサ、ローラ類の清掃を行います。

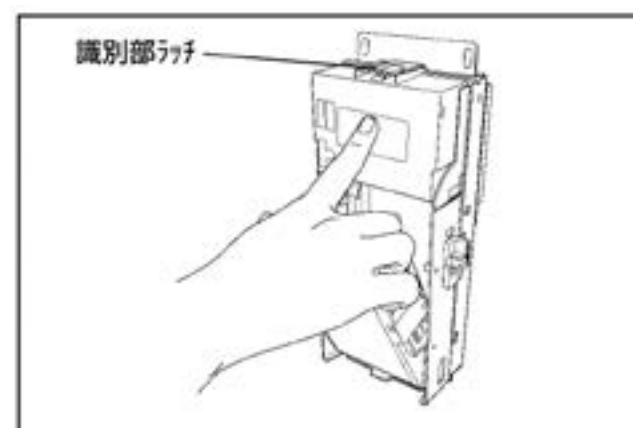
磁気センサ、光センサ、ローラ類に札垢、磁粉等が付着しますと、紙幣の受入れ率が低下しますので、ぬるま湯を含ませた布・綿棒等を固く絞った状態で拭き取ってください。汚れがひどい場合でも、アルコールの使用は避け、薄めた中性洗剤を布等に湿らせて固く絞った状態で拭き取り、最後に水拭きで仕上げてください。

※ローラ部を清掃する際、ギアを回転すると、ローラは容易に回転することができます。



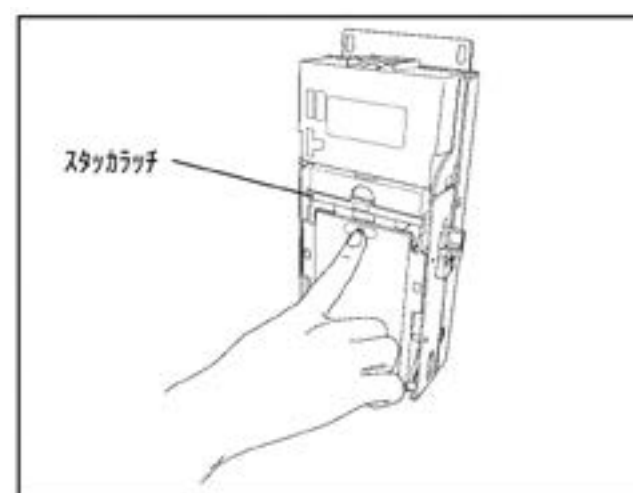
⑤ 紙幣識別部の背を『カチッ』と音がし、識別部ラッチがかかるまで押してください。

セットが不十分では紙幣を受入れません。



⑥ スタッカの背（「押」の表示がある所）を『カチッ』と音がし、スタッカラッチがかかるまで押してください。

セットが不十分では紙幣を受入れません。



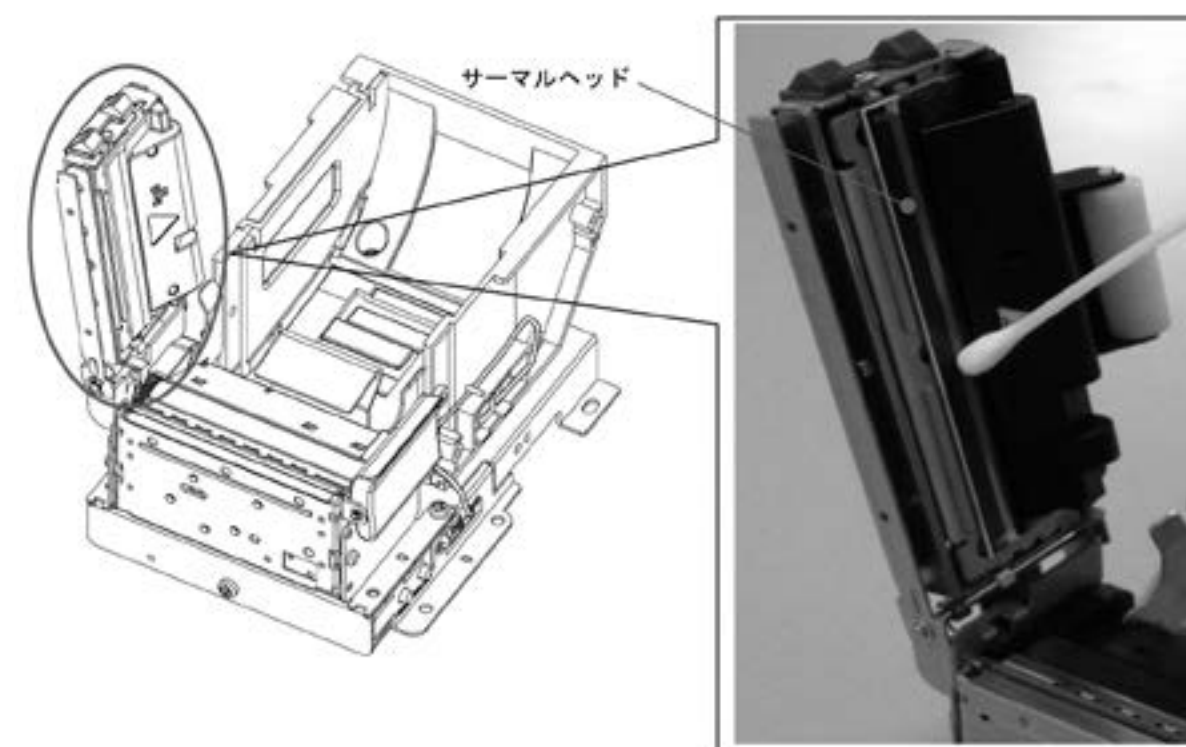
16-3 レシートプリンタの日常メンテナンス

紙粉や埃の影響による印字品質の劣化や誤動作を防止するために、定期的に清掃を行ない、以下のメンテナンスを行ってください。6ヶ月に一度、または100万行印字每に行なうことをお勧めします。

16-3.1 掃除方法

① サーマルヘッド

綿棒にアルコール溶剤（エタノール、メタノール、イソプロピルアルコール）を付けて、ヘッドの発熱体部分の汚れを除去します。



② 紙送りローラー

乾いた柔らかい布で紙送りローラーを軽くこするようにして拭き、表面の付着物を除去します。この際、ローラーを回して全面の除去を行ないます。

③ 用紙検知センサー周辺

ペーパーエンドセンサー等に付着したゴミ・ほこり・紙粉などを毛先の柔らかいブラシや綿棒で除去します。



警告

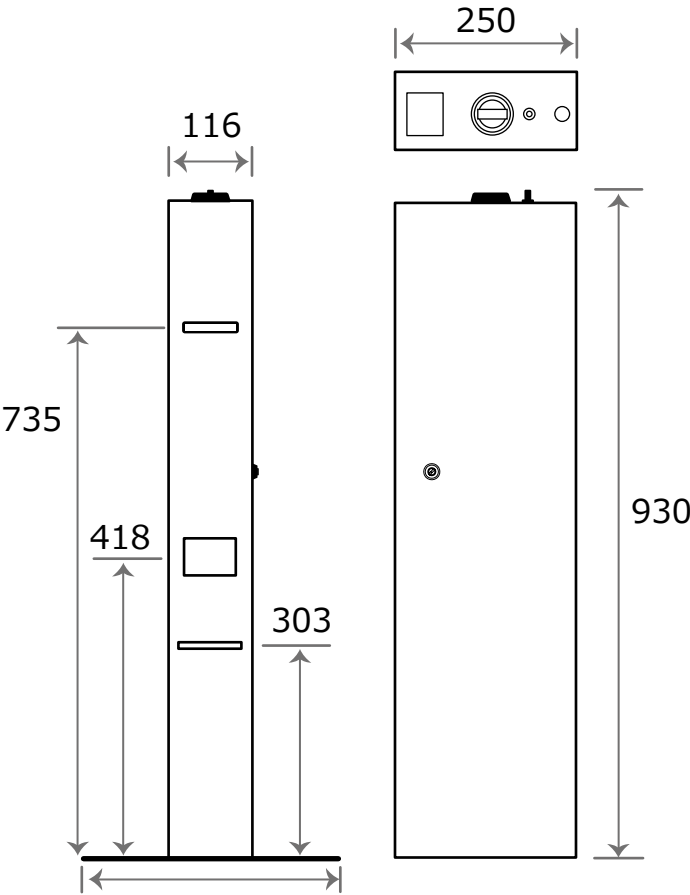
- ・電源がオフになっていることを必ず確認してください。
- ・印字動作の直後は、サーマルヘッドが高温になっている場合があります。しばらく時間をおいて温度が下がるのを待ってからお手入れを行ってください。
- ・ヘッドの発熱体部分には、直接指を触れないでください。汚れが付着したり、静電気によりヘッド破損等の危険性がありますので、ご注意ください。
- ・指や硬い物でサーマルヘッドに傷を付けないようにしてください。
- ・シンナー、ベンジンなどの揮発性の薬品は使用しないでください。
- ・プリンターの内部は絶対に水などで濡らさないでください。
- ・電源は、アルコールが完全に乾いた後で投入してください。

17

外形寸法図

17-1 外形寸法図

寸法 : 高さ 930mm ×幅 350mm ×奥行き 250mm
重量 : 約 20.8 kg (コインメカニズム、ビルバリ、レシートプリンタ取り付け時)



(単位 : mm)

17-2 同梱物

CB-BOX-Premium には以下のものが標準添付品として同梱されています。
ご確認ください。

- CB-BOX-Premium
- 鍵 2 個
- CD-ROM(取扱説明書データ、USB ドライバ、ユーティリティソフト) 1 枚
- コードホルダ RS 1 個
- コードブッシュ 1 個
- DKN-10 日幸 NK クランプ 1 個
- 取付ネジ 1 本
- 設置手順書 1 部